

平成30年度 南あわじ市社会福祉協議会 事業報告書  
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

福祉目標

「みんなで考え みんなでつくる 笑顔のまち  
～つなぐ・つながる・つなぎあう～」

重点目標

- A. 一人ひとりの生活を支えるネットワークづくり
- B. 活動をすすめるための組織基盤づくり

取り組み①地域ケアシステム(み～あシステム)のしくみづくりに取り組みます

活動項目①-1 地域ケアシステム(み～あシステム)のしくみづくり

(1) 自治会エリアでの見守り支え合い活動の推進【補助金・善意銀行・共同募金配分金】

第3次計画到達点・自治会での会議や活動に参加し、顔の見える関係を作っていきます。また、モデル地区を設定し「支え合い(防災)マップ」づくりなどを通じて、地域での見守りや支え合いをすすめます。それらを通じて、既存の見守り活動や集まる場を支援し、住民が話し合える場としての「はなす会」を地域に増やします。

【「はなす会」の開催】

住民自身が、自分たちの暮らす小さな圏域での地域資源の再発見や課題などについて協議するために「はなす会」を開催しています。今年度は、「はなす会」の目的やねらいを住民に理解してもらうことを中心に活動をすすめました。今後、より身近な地域で見守り活動や支え合い活動を増やすために「はなす会」を展開していきます。

月日	主な対象者と内容	地域 (参加人数)
H30.5.15	沼島地区自治会、民生委員児童委員会、市民交流センター、社協が集まり、沼島内の「移動」について継続して協議を進めています。沼島内で移動支援が必要な方や運行経路などについて話し合いを行いました。	沼島 (13名)
H30.5.29	阿万地区地域づくり協議会の「やさしい阿万づくり部会」にて高齢者対策や子育て対策、世代間交流について協議。地域の広報活動、集う場について話し合いを行いました。	阿万 (15名)
H30.7.26	阿万地区地域づくり協議会「やさしい阿万づくり部会」にて高齢者対策や子育て対策、世代間交流について協議。らんらんバスの試乗体験や広報活動について話し合いを行いました。	阿万 (14名)
H30.7.26	賀集地区自治会、民生委員児童委員会、老人クラブ、市民交流センター、社協が集まり、賀集内の集いの場や地域活動について話し合いを行いました。	賀集 (10名)
H30.10.30	沼島地区自治会、民生委員児童委員会、老人クラブ、市民協働課、第1層・第2層生活支援CO、市民交流センター、社協が集まり、沼島内の「移動」について継続して協議を進めています。運送の種類、保険について、運転手について、利用者について協議しました。	沼島 (19名)
H30.11.22	沼島地区自治会、市民協働課、第1層・第2層生活支援CO、市民交流センター、社協が集まり、沼島内の「移動」について継続して協議を進めています。運送の種類、保険について、運転手について、利用者について協議しました。	沼島 (12名)

H30.12.11	阿万地区地域づくり協議会やさしい阿万づくり部会にて高齢者対策や子育て対策、世代間交流について協議したほか、現在の活動状況について共有しました。	阿万（12名）
H30.12.18	沼島地区移動支援サービス事業協力者説明会及びボランティア対象に交通ルール、要支援者の車への移乗についての講座開催について話し合いを行いました。	沼島（25名）
H31.2.5	愛称について、告知配付チラシについて、様式確認、協定式、4月運転者について、話し合いを行いました。	沼島（12名）
H31.2.11	阿万地区地域づくり協議会やさしい阿万づくり部会にて高齢者対策や子育て対策、世代間交流について協議したほか、今年度の振り返りを行いました。	阿万（12名）
H31.3.12	行きまっCAR出発式の打ち合わせと最終確認を行いました。	沼島（12名）
H31.3.26	行きまっCAR出発式。	沼島（30名）

### 「話し合いから助け合いへ」 ～沼島で「行きまっ CAR（カー）」が誕生～

沼島地区では住みよい沼島を目指し、平成29年7月に自治会・老人クラブ・民生児童委員・地域包括支援センター・社協との懇談会を実施しました。そこでは、介護保険制度からみた沼島の現状について話し合ったところ、今後制度でできること、地域・住民ができることを明確にする必要性を共有し、丁寧に住民の意見を聞こうということになり、自治会ごとに「はなす会」が実施できました。「はなす会」では、「移動」・「食」・「集いの場」についての意見が多く出されましたが、その中で「島内の移動」という課題を焦点化し、「誰が」、「誰と」、「誰を」対象に、どのようにするかについて、沼島地区協議体を立ち上げ、1層・2層の生活支援コーディネーターが中心となって住民とともに丁寧に意向調査や協議を重ねてきました。結果、平成31年4月より自宅から島外受診のため、歩行困難な方を対象にした移動支援『行きまっ CAR（カー）』を運行することになりました。

話し合いから生まれた「助け合いのしくみ」。31年度も住民の力が結集されるための地域組織化と、組織を基盤とした協議の場づくりを関係機関と連携し推進します。



【支え合い防災マップづくり】

地域の見守り活動や課題を見える化し地域の現状について、地域で暮らす住民自身が気づき合うきっかけづくりを目的として「支え合いマップづくり」を今年度は神代地区をモデル地区とし全自治会での開催をめざしました。結果、16自治会中8自治会で開催することができました。今後は、支え合いマップづくりでうまれた気づきを、地域での支え合い活動から地域の防災対策につなげていきたいと考えています。

月日	主な対象者と内容	地域（参加人数）
H30.5.18	北所自治会の上所、藤井、中小路地区の会長会にて開催。一人暮らし高齢者や高齢者世帯、子どもや転入者などの情報やお講、清掃活動などの地域での集いの場を把握し共有しました。	神代北所（4名）
H30.5.30	農地水の会の参加者を対象に開催。子ども会や老人クラブなどの活動、農地水の会、お講などの地域での集いの場を把握し共有しました。	神代南所（7名）
H30.6.10	隣保長会にて開催。気になる世帯が一定の地域に集中していることや、新興住宅地が増えたことなど地域の現状を把握し共有しました。	神代籠池（11名）
H30.7.20	山添老人会、サロン、子ども会の夏祭りにあわせて開催。高齢者と小学生が一緒になって地域の現状や避難路を把握し共有できました。	山添（48名）
H30.12.5	川向自治会（老人会、自治会、民生委員を含め）にて開催。新興住宅地や分譲地があり、農家のほかサラリーマン家庭も多く、現状を把握し活動に展開するのが難しい現状ですが、マップづくりをきっかけに防災への意識付けができました。 1～4 隣保	川向（17名）
H31.2.23	隣保長会にて開催。新興住宅の隣保入りや子どもの減少など社会の変化に応じた住民自治を行っていることや神社の清掃やだんじりなど伝統行事など地域の現状を把握し共有しました。	神代小路（10名）
H31.2.26	自治会長と隣保長とで開催。耕作放棄地や担い手の不足など地域の現状を把握し共有しました。	神代段（2名）
H31.3.2	川向自治会（老人会、自治会、民生委員を含め）にて開催。5～8隣保で前回と同様に行い、継続的に行う必要性を共有できました。	川向（15名）
H31.3.5	自治会長と次期自治会長とで開催。お講や祭りなどの催事やライスセンターでの共同耕作、不法投棄、獣害など地域課題や地域の現状を把握し共有しました。	神代浦壁（2名）



【災害時に力を発揮する地域での支え合い活動をすすめています】

## 【住民が集える場の推進・支援】

人は誰かと一緒に何かをして、同じ時間を過ごす、過ごした分だけ心の距離が縮まります。これを「つながり」と呼んでいます。生活のあちこちでつくられている「つながり」は、人が「あつまること」によって「おおきなつながり」をつくれます。人が集まると、「○○のことってどうしたらええんだあか」といった「生活のつぶやき」にふれることがあります。すると「私の知っている○○さんに聞いてみる」というように解決の糸口を探しはじめる場面が見られます。私たちは、この「大きなつながり」によって様々な問題を解決したり、新しい活動を生み出します。これを「ネットワーク」と呼びます。「生活のつぶやき」を解決する力の源は「あつまること」にあるのです。

話し合いや交流などのあつまりが繰り返されると、つながりが形成され、生活の相談ごとを話すようになります。この相談は、自然とお互いの「見守り」の姿へと発展します。このような見守りは、「ちょっと気になる人」の生活の困りごとや異変などを早期にキャッチすることになり、日常の生活を通じて、自分たちのできることを重ねあわせながら、お互いの「支えあい」へと地域活動として変化していきます。

2019年度は、行政と協働でいきいき百歳体操、ふれあい・いきいきサロン以外の地域の多種多様な「集いの場」にも目を向け、さらに行政と連携し、地域での集いの場をとおして、見守り、支えあいの推進、支援をしていきます。

## 【ふれあい・いきいきサロン事業の推進・支援】

今年度は、西淡地域で5か所のサロンが生まれました。市内では現在62か所のサロンがそれぞれの特徴を出し、楽しみながら行われています。住民主体による身近な地域での集いの場づくりを、支え合い活動の創出や住民の意見交換などの機能開発を支援しながら、お互いを気にかけてあえる地域づくりを目指しています。また、サロン活動者の情報交換の場として、リーダー交流会を実施しました。

### ■ふれあい・いきいきサロン開催状況

【緑エリア】

サロン名	開催日数	場所	延参加人数	内容
ゆうゆうクラブ	12	大丸公会堂	80	会食、鎮守祭、健康教室、うちわづくり、ガーデニング教室、茶話会、クリスマス会
ふれあいながた	12	コミュニティプラザ長田	233	こどもまつり、食事会、営農教室、ハウ酸だんご、味噌づくり、健康教室、遠足、グランドゴルフ、フラワーアレンジ、新年会
中田サロン	22	中田公会堂	327	茶話会、合唱、健康体操、料理教室、麻雀、工作、ゲーム、クイズ
山添なかよし会	12	山添公会堂	140	グランドゴルフ、健康教室、ゲーム、おしゃべり、茶話会、野外活動、みどりの家交流会
なでしこ	12	市場公会堂	117	おしゃべり、頭の体操、ゲーム遊び、講習会、ビデオ鑑賞、忘年会、お出かけ
中筋いきいきサロン	10	中筋公民館	221	健康教室、体操、料理教室、営農教室、講話、手芸、出前講座、クリスマス会、お出かけ
中山レディース会	12	中山公会堂	134	生け花、営農教室、茶話会、外出
しづの里ふれあいサロン	10	倭文公民館	198	茶話会、介護教室、料理教室、研修会、ごきぶり団子づくり、ビデオ鑑賞、寄せ植え、講話、健康教室
徳中なかよし会	12	徳原公会堂	109	茶話会、体操、おしゃべり、会食会、レクリエーション、日帰りバスツアー、講話
合計	114		1,559	

## 【西淡エリア】

サロン名	開催日数	場所	延参加人数	内容
いきいきサロンN西路	10	西路公会堂	122	講話、クロスロードゲーム、歌唱、情報交換、茶話会、食事会、人権学習、かるた、工作
雁来いきいきサロン	12	雁来コミュニティセンター	205	工作、人権ビデオ、茶話会、ゲーム、クリスマス会、講話
高屋ふれあいサロン	6	高屋公会堂	79	健康体操、かるた、手芸、人権ビデオ、茶話会、遠足
かめさんクラブ	12	阿那賀コミュニティセンター	98	花見、手工芸、調理実習、体操、茶話会
伊毘ささらぎ会	11	伊毘コミュニティセンター	144	花見、おやつづくり、料理、外出、手芸、新年会
ひだまりサロン	12	阿那賀公民館	96	おやつづくり、調理実習、遠足、手芸
きすな	11	古津路集会所	82	おしゃべり、茶話会、健康体操
喜多ひばり会	35	志知北公会堂	193	茶話会、健康体操、講話、食事会
きすな第2	10	古津路公会堂	111	茶話会、手芸、ゲーム、講話、反省会
サロンえじり	8	江尻集落センター	152	ビンゴゲーム、ごきぶりだんご、工作、トランプ、体操、コミュニケーション麻雀、人権ビデオ、茶話会
北方いきいきサロン	11	北方営農センター	131	茶話会、清掃、染色講習、奉仕作業、反省会
慶野サロン	5	コミュニティプラザ慶野	50	茶話会、手工芸、カラオケ、ゲーム
あじさいグループ	10	伊加利コミュニティセンター	101	健康体操、折り紙、もちつき、茶話会、おしゃべり、カラオケ、レクリエーション、調理実習
しらさぎ	12	志知川地区コミュニティセンター	181	お花見、寄せ植え、おやつづくり、茶話会、講話、人権ビデオ、手芸、新年会、旅行
みなとふれあいサロン	12	湊地区公民館	178	調理実習、ゲーム、茶話会
湊ちどりクラブ	12	湊活性化センター	517	世代交流、ゲーム、料理教室、健康体操、旅行、講話、茶話会、パン食い競争
西本サロン	7	西本村コミュニティセンター	62	茶話会、運動、おやつづくり、牛乳パックイス作り、ゲーム
岡東サロン	8	岡東会館	27	茶話会、運動、おやつづくり、牛乳パックイス作り、ゲーム
つくしサロン	9	自宅	58	茶話会、運動、おやつづくり、牛乳パックイス作り、ゲーム
おしゃべりカフェ	38	丸山公民館	218	茶話会、運動、おやつづくり、牛乳パックイス作り、ゲーム
いきいき長寿の会	12	大江のり販売所	153	茶話会、運動、おやつづくり、牛乳パックイス作り、ゲーム
つつい行きたくなるお楽しみ会	9	津井交流センター	178	茶話会、運動、おやつづくり、講話寄せ植え、ゲーム
合計	272		3,136	

## 【三原エリア】

サロン名	開催日数	場所	延参加人数	内容
しすおりわかばサロン	11	倭文研修指導施設	235	会食、おしゃべり、手芸、会食、ゲーム、世代交流、ビンゴゲーム
ふれあいサロン松田	12	老人いこいの家	82	血圧測定、会食会、情報交換会、健康体操
サロン 睦会	12	委文公会堂	82	茶話会、血圧測定、手芸、食事会、健康体操、反省会
まほろばサロン	12	大榎列公会堂・憩いの家	99	外出、健康体操、料理、手芸、寄せ植え、クリスマス会、脳トレ、講話
しあわせサロン	11	養宜公民館	95	花見、料理、ゲーム、カラオケ、外出、忘年会、反省会
おたふくいいききサロン	10	八木地区公民館	125	会食、おしゃべり、料理、講話、世代交流、すいせんホーム訪問、寄せ植え、外出、反省会
糸びす	13	市地区公民館	318	版画、料理教室、茶話会、世代間交流、工作、お茶会、らんらんバス旅行
十一ヶ所スマイルクラブ	7	老人福祉センター	120	輪投げ、健康教室、料理教室、茶話会、ゲーム
小榎列サロン	10	小榎列集落センター	137	グランドゴルフ、エコマップづくり、体操、人権ビデオ、寄せ植え、ボランティア、忘年会、カルタ、手芸、お出かけ、花見
ゆずるはサロン	8	神代地区公民館	86	エステ、茶話会、寄せ植え、調理
ぐるーぷこすもす	6	八木地区公民館	105	茶話会、食事会、研修、認知症サポーター養成講座、寄せ植え
くま志ろ	10	神代地区公民館	164	お花見、体操、食事会、カラオケ、グランドゴルフ、茶話会、新年会、輪投げ
サロンみなかみ	12	南上公会堂	58	茶話会、会食会、手芸、健康指導教室
合計	134		1,706	

## 【南淡エリア】

サロン名	開催日数	場所	延参加人数	内容
沼島ふれあいサロン	6	沼島開発総合センター	294	清掃作業、グランドゴルフ、もちつき大会、研修旅行、茶話会
新田北ふれあい・いきいきサロン	10	新田北集会所	203	おしゃべり、食事会、花まつり、外出、手芸、ビデオ、生け花、茶話会、ビデオ鑑賞
あずまサロン	13	あずま老人福祉センター	227	おしゃべり、おやつづくり、人権ビデオ、料理、体操、お出かけ、食事会、講話、手芸
潮美台にこにこサロン	11	潮美台公民館	283	清掃、世代交流、独居高齢者訪問、研修旅行

子育てママクラブ	3	阿万公民館	60	お菓子作り、料理、遊びのひろば、クリスマス会
沼島おのころサロン	6	沼島開発総合センター	284	清掃、ゲーム、親睦旅行、世代交流、研修旅行、おしゃべり、茶話会、餅つき会
さくらサロン	39	老人憩いの家 福良荘	101	体操、ストレッチ、練功、情報交換
まつぼっくり	12	楽市楽座	77	茶話会、手芸、寄せ植え、食事会
福遊会サロン	24	老人憩いの家 福良荘	96	民謡、すいせんホーム訪問、茶話会
仁尾いきいきサロン	10	仁尾荘	127	講話、介護予防体操、手工芸、人権ビデオ、健康体操、出前講座、クリスマス会、会食会、茶話会
フレッシュすいせん	12	灘生きがい 創造センター	135	健康体操、外出、茶話会、グランドゴルフ、新年会、地区文化祭出演、反省会
サロンうぐいす	12	コミュニティセ ンター白崎会館	85	茶話会、調理実習、お出かけ、奉仕作業、世代交流、健康体操
ゆずるは	12	吉野公民館	59	食事会、茶話会、手芸、クリスマス会、新年会、調理実習、おやつづくり、らんらんバスでの買い物ツアー、遠足
千種いきいきサロン	12	大川公会堂	99	花見、調理実習、茶話会、外出、おやつづくり、ビデオ観賞、文化祭出演、クリスマス会、手芸、球技大会
網屋にこここサロン	12	うずしおルーム	283	おしゃべり、手工芸、人権ビデオ、ゲーム、寄せ植え、健康体操
福友会サロン	14	老人憩いの家 福良荘	215	体操、茶話会、出前講座、食事会、講話
サロンいがの	10	伊賀野コミュニ ティセンター	101	おしゃべり、ゲーム、体操、工作、ピンゴゲーム、歌、調理実習、人権ビデオ
北納屋サロン	11	南あわじ市児童館	78	脳トレ、レクリエーション、健康教室、手工芸、お茶会
合 計	229		2,807	



【地域でのつながりがひろがっています】

## ■住民への説明会

ふれあい・いきいきサロンについての説明会を次のとおり実施しました。

月日	内 容 (対象地区)	出席者数	場所
H30.5.2	サロン説明会（志知地区）	3	個人宅
H30.6.4	サロン説明（丸山地区）	2	丸山地区公民館
H31.3.1	サロン説明（丸山地区）	8	丸山地区公民館
H31.2.7	サロン説明（松帆地区）	10	松帆地区公民館
H31.3.4	サロン説明（倭文地区）	6	倭文地区公民館
H31.3.27	サロン説明（賀集地区）	3	個人宅

## ■地域リーダー交流会の実施

地域の人材発掘や地域での人づくり、ネットワークについて学び、活動者の育成やサロン間でのつながりを広げ、小地域活動の活性化につなげていくことを目的に実施しました。参加者からはサロン活動を継続するにあたり、参加者の拡充、実施メニューの開発等の課題はありながらも、市内のサロンと交流する中で他のサロンの取り組みを学んだり、地域で集うことの大切さを実感されていました。今後の方向性として、サロン世話人が地域での交流を大切にしながら、準備可能な内容で活動を続けられる様情報交換会や勉強会等を考えています。

月日	講座・研修名	内 容	参加者数
H31.3.12	地域リーダー交流会	サロン活動を通じての気になることや、やってきてよかったことを中心に事前アンケートを行いました。当日は『さくらサロン』によるタオル体操とグループに分かれ情報交換会を行いました。	54

## (2) 市民交流センターエリアでのネットワークづくり【補助金・善意銀行・共同募金配分金】

第3次計画到達点・地区社協や地域づくり協議会が各種団体から構成されているという特徴を生かし、自治会エリアでは解決できない地域課題や、市民交流センターに寄せられた相談について話し合える場として、「地区福祉連絡会(仮称)」を位置付けていきます。旧町エリアに2ヶ所を目安に連絡会の設置を目指します。

### ■『地区福祉連絡会』の設置に向けた活動・取り組み

【緑】

内 容	回数
<p>・市民交流センターの会議や活動に参加 (広田七夕まつり、広田集いと学びの場2回、広田地区敬老会打合せ会2回、広田地区敬老会1回 倭文夏祭り1回)</p> <p>・地区自治会の会議や活動に参加 (広田2回、倭文1回)</p> <p>自治会や夏祭り、敬老会などへ参加し、住民とともに活動することで、よりよい関係性づくりに努めました。今後は、会議に参加し把握した課題や活動について共有する機会の創出や地域づくり協議会との関わりを強化し、課題解決に向けた話し合いの場づくりをすすめていきます。</p>	9

【西淡】

内容	回数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区民協の会議や活動に参加</li> <li>・地区自治会の会議や活動に参加</li> <li>・地区老人会等の会議や活動に参加</li> <li>・地域づくり協議会などの会議に参加</li> <li>・地区福祉連絡会について検討</li> </ul> <p>市民交流センター単位の会議などに参加し、地域の現状や情報把握に努めました。また、今後は“見守りにつながる防災”をテーマに小地域での話し合いの場を作っていけるよう、支部運営委員会などで検討を重ねていきます。</p>	23

【三原】

内容	回数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民交流センターの会議や活動に参加 (市地区つどいの場9回、榎列・倭文夏祭り1回、市地区敬老会、榎列・倭文地区敬老会1回)</li> <li>・自治会長会や地域づくり協議会、地区社協の会議に参加 (市地区自治会長会1回、榎列・倭文自治会長会1回、八木地区自治会1回、市地域づくり協議会4回、榎列・倭文地域づくり協議会4回、神代地区地域づくり協議会1回)</li> </ul> <p>三原地域では、市地区地域づくり協議会と榎列・倭文地域づくり協議会に委員として参加し、つどいの場と夏祭り、敬老会に参加しました。また、神代地域づくり協議会では、支えあいマップについて説明し、6自治会にて支えあいマップを実施することができました。</p>	32

【南淡】

内容	回数
<p>地域で開催されている会議(地域づくり協議会など)や活動(老人クラブ総会、敬老会など)に参加することで、地域の現状を把握し、市民交流センターエリアでのネットワークの強化に努めました。また、なんたん支部運営委員会の中で市民交流センターエリアではなす会について協議し、開催にいたりました。</p>	31



【地域・住民主体の話し合いをすすめています】

### (3) 旧町エリアでのネットワークづくり【補助金・善意銀行・共同募金配分金】

第3次計画到達点・小地域では対応できない生活課題だけでなく、広域での地域づくりについて検討できる場、情報共有やネットワークづくりの場として「地区ネットワーク会議(仮称)」を開催していきます。また、介護保険の新しい総合事業の生活支援サービスの体制整備における協議体としての役割を意識し、「地区ネットワーク会議(仮称)」委員の選出区分や、会議のあり方について見直しを行い、より具体的な話し合いが進められるようにします。

#### ■『地区ネットワーク会議』の設置に向けた活動・取り組み

内容	回数
地域ケア会議や単位民協へ定期的に参加することで、専門職や民生委員との情報交換を行い、旧町エリアにおけるネットワークづくりをすすめました。	117

#### ■支部運営委員会

支部運営委員会は、旧町単位に福祉事業の適正かつ円滑な推進と課題の解決を図ることを目的とし、各種団体の代表の方や、ボランティアの方々に参加いただき地域の課題などについて協議し、それらの解決に向けて協議を進めてきました。2019年度は、これまでの「はなす会」から発展した地域の実践を共有するなど、「学び・気づき」の機会を全エリアで共通的に取り組んでいきます。

#### 【みどり】

みどり支部運営委員会では、年間スケジュールを立て、ぼうさいカフェとみどりふれあい福祉のつどいの開催について協議を行い、8月10日に先進地視察研修を行い、三木市社会福祉協議会が取り組んでいる「防災を切り口とした地域づくり」について学びました。また、9月1日にはぼうさいカフェin 緑を開催し、長田自治会の取り組みから、地域でできる防災についてグループワークを行いました。11月23日(金・祝)にはみどりふれあい福祉のつどいを倭文小学校で開催しました。また支え合いマップをモデル的に川向自治会にて開催することができました。

2019年度は防災というキーワードをもとに支え合いマップづくりとぼうさいカフェやつどいを通じて緑地域での学びや集いの場づくりを行っていきたくと考えています。

月日	内容	支部	出席者数
H30.4.19	・年間計画について	みどり	10
H30.5.17	・支部運営委員会について(説明) ・年間計画について	みどり	13
H30.6.22	・ぼうさいカフェin緑について	みどり	15
H30.7.12	・ぼうさいカフェin緑について ・視察研修について	みどり	16
H30.8.10	・視察研修(三木市社会福祉協議会)	みどり	13
H30.9.14	・視察研修 ぼうさいカフェin緑 振り返り ・平成30年度共同募金運動について ・みどりふれあい福祉のつどい実行委員会について	みどり	13
H30.12.20	・みどりふれあい福祉のつどい振り返り	みどり	13
H31.1.18	・地域の課題について	みどり	14
H31.2.15	・今年度の振り返りについて	みどり	13
H31.3.18	・来年度の計画について	みどり	16

【せいだん】

月日	内容	支部	出席者数
H30.6.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支部長、副支部長の選任</li> <li>・ 社会福祉協議会の活動について</li> <li>・ H30年度の年間計画について</li> </ul>	せいだん	14
H30.7.24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第8回せいだんふれあい交流のつどいについて</li> <li>・ 地域での話し合いについて</li> </ul>	せいだん	14
H30.9.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H30年度共同募金活動について</li> <li>・ 第8回せいだんふれあい交流のつどいについて</li> <li>・ 地域での話し合いについて</li> </ul>	せいだん	16
H30.11.19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第8回せいだんふれあい交流のつどいについて</li> </ul>	せいだん	17
H30.12.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第8回せいだんふれあい交流のつどい</li> </ul>	せいだん	約500人
H31.1.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第8回せいだんふれあい交流のつどい実施報告について</li> <li>・ 地域での話し合いについて</li> </ul>	せいだん	11
H31.3.13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2019年度年間計画について</li> </ul>	せいだん	11

【みはら】

みはら支部運営委員会では、9月11日に先進地視察研修を行い、香美町社会福祉協議会が先駆的に取り組んでいる福祉防災マップを基盤とした地域福祉実践について学びました。2月17日には「集いが育む地域の力～集楽活動のススメ～」と題し、地域福祉フォーラムみはら福祉の集いを開催しました。支え合いマップにおいては、神代地区で新たに6か所で支え合いマップを実施できました。2019年度も支え合いマップによる話し合いの場づくりを広げていきたいと考えています。

月日	内容	支部	出席者数
H30.5.23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支部運営委員会について(説明)</li> <li>・ 年間計画について</li> </ul>	みはら	13
H30.7.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視察研修について</li> <li>・ みはら福祉の集いについて</li> <li>・ ぼうさいカフェについて</li> </ul>	みはら	13
H30.9.11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 視察研修（香美町社会福祉協議会）</li> </ul>	みはら	9
H30.10.11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みはら福祉の集いについて</li> <li>・ ぼうさいカフェについて</li> </ul>	みはら	14
H30.12.5	研修会 ぼうさいカフェInみはら 倭文長田自治会の取り組みについて 講師：前自治会長 橋本 隆氏 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みはら福祉の集いについて</li> </ul>	みはら	12
H31.2.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みはら福祉の集いについて</li> </ul>	みはら	13
H31.3.27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度の振り返りにについて</li> <li>・ 来年度の計画について</li> </ul>	みはら	13



【集落福祉の価値について学びました】

【なんだん】

なんだん支部運営委員会では、各市民交流センターエリア毎に委員を選出していただいていることを活かし、地域づくり協議会との連携を深めるための方策や地域活動の把握を行いました。また、地域活動をその場で共有したり、視察研修に行くことで、新しい活動が生まれることや活動がさらに広がっていくように努めます。今後は「地区ネットワーク会議」として位置づけるために地域住民からの選出にこだわらず、福祉専門職からも参画いただきながら、各市民交流センターエリアで取り組まれている活動や課題を共有し、旧町エリアで取り組むべき活動、課題について協議を進めていきます。

月日	内容	支部	出席者数
H30.4.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社協、支部運営委員会について</li> <li>・年間計画について</li> </ul>	なんだん	22
H30.7.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なんだん福祉まつりについて</li> <li>・視察研修について</li> </ul>	なんだん	20
H30.9.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なんだん福祉まつりについて</li> <li>・岡山県倉敷市の豪雨災害から</li> </ul>	なんだん	20
H30.12.14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視察研修（淡路市山田ごきげん荘）</li> <li>・なんだん福祉まつり反省会</li> </ul>	なんだん	9
H31.2.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視察研修報告</li> <li>・地域活動について</li> </ul>	なんだん	15

■各支部まつり実行委員会

月日	内容	支部	出席者数
H30.9.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なんだん福祉まつりについて</li> <li>・岡山県倉敷市の豪雨災害から</li> </ul>	なんだん	20
H30.9.14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会の設置について</li> <li>・役員を選任について</li> <li>・実施計画(案)、予算(案)について</li> </ul>	みどり	29
H30.10.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なんだん福祉まつり実施内容について</li> <li>・当日の役割分担について</li> </ul>	なんだん	19
H30.10.18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画について</li> <li>・タイムスケジュール、当日の役割分担について</li> <li>・周知・広報について</li> </ul>	みどり	29
H30.10.29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なんだん福祉まつり実施内容について</li> <li>・当日の役割分担について</li> </ul>	なんだん	22
H30.11.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムスケジュールについて</li> <li>・当日の役割分担について各セクションで話し合い</li> </ul>	みどり	32
H30.11.19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員を選出について</li> <li>・当日の流れと役割分担について</li> <li>・準備物について</li> </ul>	せいだん	17
H30.12.14	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視察研修（淡路市山田ごきげん荘）</li> <li>・なんだん福祉まつり反省会</li> </ul>	なんだん	9

■第2層生活支援体制整備事業（生活支援Co(コーディネーター)の配置）

昨年度4月より、南あわじ市第2層生活支援体制整備事業の業務を受託しています。

第2層生活支援Coは、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために、地域における支え合いの体制づくりを推進していくことを目的に活動しています。第2層生活支援Coは旧町エリアと市民交流センターエリアを、また、コミュニティワーカーは自治会エリアと市民交流センターエリアを活動域と定め、常に連携をとり活動しています。また、第1層生活支援Coとも常に情報を共有し、活動の報告、進め方について相談しながら活動しています。沼島地区での「はなす会」では、平成29年度より引き続き、地域包括支援センター、第1層生活支援Co、市民協働課と連携し、住民を主体とした意見交換会を重ねることができました。結果、平成31年3月26日には、住民による移送の助け合いの仕組み「行きまっCAR」がスタートしました。

こうした、地域の方が抱える課題を「はなす会」などで把握し、「集いの場」や「移動」の課題について誰もが安心して暮らし続けることができる仕組みづくりに向けて住民のみなさんと継続した話し合いをすすめたほか、行政と協議を重ね、いきいき百歳体操、ふれあい・いきいきサロン以外の地域の多種多様な「集いの場」にも目を向け、市の広報8月号では、集いの場の特集を共同で企画し掲載しました。今後も行政と連携し、地域での見守り、支えあいを推進、支援していきます。

事業の評価・検討	評価の視点	評価	評価理由及び改善策など
必要性	地域における住民主体の支えあい活動をすすめるには、まず住民自身が自分たちの暮らす地域の生活課題や地域のあらゆる資源について話し合い、気づき機会が必要である。今年度は、その気づき機会を第2層生活支援Coが中心となり社協のエリア担当ワーカーと連携し、市民交流センター単位、自治会単位で「支え合いマップづくり」や「はなす会」を開催したことで、住民の学びと気づきが促され、活動づくりの機運が高まってきた。	「支え合いマップづくり」などを通して、地域ですでにサロン等の住民参加型の助け合い活動が行われていることを把握できた。沼島では市民交流センター単位での話し合いから単位自治会にその機会が広がったことで、住民の支え合い活動等に対する意識と地域資源を把握できた。結果、3月には、住民による支え合いの仕組み「行きまっCAR」が始まるに至ったが、足かけ3年を費やした。今後も住民主体の活動を支援する視点を大切に、サービスづくりや担い手の養成を急ぐのではなく、丁寧なプロセスを評価して、住民の内発的な意識変化から産まれる活動を側面から支援していくという共通認識を関係機関で確認していく。	
効率化	第1層Coの活動改善策として、多くの組織団体と連携を図ることが必要との指示があった。そこで、今年度第2層では、多様な組織団体で構成される社協の支部運営委員会や、民生委員・児童委員協議会、自治会長会等で、「支え合いマップ」や「はなす会」の推進について啓発し結果、神代や、市十ヶ所、潮美台、広田で協議が進んだ。	話し合いにより課題が明確になった場合、その課題解決に向けた住民主体の会議運営や新たなサービス開発にあたっては、住民、生活支援Co、行政の役割分担が不可欠であるとともに、その場に寄り添い続けられるマンパワーの担保が求められる。地域づくりを担う主体それぞれの役割を明確にし、地域・住民による課題解決に向けてのプロセス支援ができる体制強化に取り組む。	
妥当性	「介護予防・日常生活支援総合事業」が新たに新設されたが、単身化等により社会的孤立化が進む中では、いくらサービスが充実しても漏れってしまうケースが発生する。高齢者だけでなく、地域に住むすべての住民同士が支え合える関係性の基盤づくりを構築することを目指し全世代を対象とし地域共生社会を意識した活動を展開した。	地域づくりを進めるためには、どれぐらいのエリア(範囲)にどのような役割を持った地域を支援するワーカーを配置する必要があるのかについて、10年後、20年先の地域づくりを見据えて高齢、児童、障がい、地域福祉、まちづくり等の分野を横断した方針(計画)を関係者間で協議・共有していく必要性を感じた。とりわけ住民の暮らしに近い圏域で活動するワーカーには、包括的な相談窓口機能と地域活動をサポートするスキルなどが求められる。どこの、誰が、どのように担うかといった具体的な議論を引き続きすすめたい。	
協働性	協議の場づくりや啓発においては、他職種・関係機関と協働してすすめられた一方、方向性や進捗管理においては、第1層・第2層生活支援コーディネーター間での定期的な協議や情報共有が十分でなかった。また2019度に向けた活動方針についても、これまでの活動の評価や第1層・2層の役割等について十分検討できなかった。	第1層・第2層生活支援コーディネーター間での定期的な協議や情報共有が十分行えなかった。今後は、生活支援体制整備事業の進捗管理会議を軸に庁内連携と多機関連携をすすめ、各々の役割を明確にし、目指す地域の姿、方針の共有と、意識の統一を図る。	

【行政への報告書を転載】

**【はなす会が住民主体の支え合い活動を豊かにする】**  
**～津井のついつい行きたくなるお楽しみ会～**

地域の住民の集いの場として、南あわじ市社会福祉協議会が応援する「ふれあい・いきいきサロン」があります。サロンは多くの地域に広がっており今年度末で62ヵ所になりその活動も多彩です。参加する地域住民の関係性がつくれ、つながりが深まる場、つながりの再構築ができる場として住民が主体となった活動が行われています。

津井地区で集いの場について話し合われるようになったのは平成29年9月です。当時、社協が月2回行っていたミニデイサービスに参加したい津井地区の高齢者が定員数を超過してしまい参加することができなくなりました。『みんなが集まれる機会がほしい』。そのことを、民生委員が地域の課題として取り上げ、自治会、老人クラブ、地域づくり協議会の方々に、「はなす会」を定期的に続けました。その結果、参加者みんなで、「ついつい行きたくなるお楽しみ会」と名付けられた地域の集いの場が生まれました。移動についてもみんなで話し合い、タクシーを乗り合わせて会場まで来るようになりました。内容についても、参加者みんなで話し合い、みんなで決めており、回数を重ねるごとに参加する住民が増えています。

一方、他の地域では「集いの場が必要でしょう」と支援者の考えで声をかけて始まった集いの場がありますが、それらはこの1年で収束または、参加者が減ってしまっているという現状があります。

地域の「集まりの場」や「活動」は多種多様ですが、「場づくり」や「活動」の力を生み出すのは、そこに暮らす地域の方々であることを改めて感じました。社協では今後も、住民主体のはなす会・交流の場に寄り添い、住民による支え合いがひろがるよう地域に向けた支援をしていきます。



【ボランティア養成講座】

月日	講座・研修名	内容	参加者数
H30.4.5 H30.4.12 H30.5.31 H30.6.7 H30.6.14 H30.6.28	朗読ボランティア初級講座	視覚障がい者や視力の低下した高齢者などを対象に、音声での情報提供を行うボランティアを支援すること、また、朗読技術の習得や向上を目的として計6回開催しました。	延べ88名

月日	講座・研修名	内容	参加者数
H30.7.12 H30.7.19 H30.7.23 H30.7.27	ささえ愛ボランティア養成講座（ボランティア入門講座）	人とのつながりが希薄になっている中、住民相互の見守りや声かけができる小地域づくりをすすめるため、地域でのボランティア育成を目的に計4回実施しました。	延べ47名

- ・受講者のうち6名がボランティア登録し、5名の方がボランティアグループとして活動を始めました。
- ・講座最終日に、ふるさと創生課職員より「おいしいやりポイント制度（高齢者等元気活躍推進事業）」の説明と今後の活動先アンケートを実施しました。本格実施に向け、現在ボランティアセンターにボランティア登録をして活動されている方が、今後もやりがいを持って活動できるよう行政と連携していきます。

**(4) 行政・関係機関(市域エリア)のネットワークづくり【補助金・善意銀行・共同募金配分金】**

第3次計画到達点・福祉部局だけでなく、他部局や関係機関にも幅を広げた情報共有の機会を増やすことで、より専門的な視点での連携した支援や、多くの意見を反映した施策化やサービス開発を行います。

**■高齢者等元気活躍推進事業（おもいやりポイント制度）**

平成30年10月から試行実施している「高齢者等元気活躍推進事業」(所管:ふるさと創生課)の説明会に同行し、「初めてのボランティア」のチラシ配布と、ボランティア活動とは何かを説明するとともに、安心して活動をしていただくための「兵庫県ボランティア市民活動災害共済」について案内をしました。また、現在活動されている方への案内など担当課とボランティアセンターで打ち合わせをしながらすすめたほか、1月からは「おもいやりポイント制度登録説明会等開催支援業務」を受託し、制度の啓発と活動者の登録をすすめました。

※3月末現在の登録人数:169人

(1)説明会への同行

説明会日程	場所	人数
H30.9.7	旧緑庁舎	14名
H30.9.7	松帆活性化センター	25名
H30.9.20	福良地区公民館	8名
H30.9.20	庁舎	14名
H30.10.20	中央公民館	16名
H30.11.21	神代地区公民館	5名
H30.12.20	榎列公民館	7名



(2)おもいやりポイント制度登録説明会等開催支援業務

講座等と合同開催したことで、制度について多くの方に知ってもらえる機会になりました。一方、日時や場所を指定して行う方法は限界があることもわかったので、今後は団体やグループが活動している場や商業施設等へ出向くなど柔軟な啓発のあり方を検討しています。また、より多くの住民に関心をもってもらうよう、実際の活動のようすや具体的な実践例を紹介するなど啓発素材を蓄積・開発し、2019年度も引き続き、制度の周知に努めます。

実施日	場所	参加者		内容
		人数	内訳	
H31.1.21	湊地区公民館	11名	説明会参加者:11 講座参加者:6 登録者:5	ふるさと創生課より制度説明 受け入れ施設より活動説明 社協よりボランティア保険について説明 終了後に「絵手紙講座」
H31.2.28	中央公民館	49名	参加者:49 つどい参加者:49 登録者:4	知的障がい者疑似体験 ふるさと創生課より制度説明 受け入れ施設より活動説明 社協よりボランティア保険について説明 交流会
H31.3.20	中央公民館	4名	説明会参加者:4 講座参加者:4 登録者:1	ふるさと創生課より制度説明 受け入れ施設より活動説明 社協よりボランティア保険について説明 スマホ・携帯講座

■「福祉のまちづくり推進会議」の設置に向けた活動・取り組み

内容	回数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市自治会連合会の会議や活動に参加</li> <li>・市の計画策定委員会議に参加</li> <li>・市民生委員・児童委員連合会の会議や活動に参加</li> <li>・市老人クラブ連合会の会議や活動に参加</li> <li>・市域で活動する団体や関係機関の会議や活動に参加</li> <li>・「福祉のまちづくり推進会議」の設置について検討</li> </ul> <p>各自治会、民生児童委員会で活動の説明等を行ってきました。今期は、民生委員児童委員と協力委員の合同研修会で、民生委員、行政(福祉課)、社協の連携についてパネルディスカッションを行うことができました。また、地域福祉フォーラムについても、市民協働課、地域包括支援センター、社協の話し合いの場で提案しました。今後は、具体的な協議の場づくりに取り組んでいきます。</p>	47

■庁内ネットワーク会議

<p>取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)</p>	<p>今年度は4年目にして初めて公的機関以外からの参加者を得て、「就労困難者・就職定着困難者支援、ひきこもり者支援」に焦点をあて計4回開催しました。今後も市内における「就労」を取り巻く課題を整理し、今後取り組むべき具体的な方策について明らかにできるよう議論を重ねていきます。</p>
------------------------------------	---

■勉強会

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	今年度は、5/17に明治安田生命保険相互会社神戸支社スタッフより「生命保険から見えるセカンドライフについて～知っておきたい暮らしとお金のセミナー～」、8/30には新淡路病院精神保健福祉士より「アルコール・ギャンブルなど依存症者への支援」、11/15には、南あわじ市社協なでしこデイサービスセンター臨床心理士より「対人援助職のメンタルヘルス」について、2/22には「生活困窮世帯への支援方法について～教育に関する支援制度を中心に～」の計4回、南あわじ市役所福祉課と合同で実施しました。今後も職場や立場を超えて学びたい内容をもちより自己研鑽に努めると共に、お互いの顔の見える関係性を築き、より相談者に対してスムーズな対応が出来るよう継続して取り組んでいきます。
----------------------------	--

■社会福祉法人連絡協議会：ほっとかへんネット（隔月開催）

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	2か月に1回開催している実務担当会議では、今年度から4つのグループ(①広報と周知、②災害時におけるしくみづくり、③生活困窮者などへの相談と支援、④施設を活用した子どもへの支援)に分かれ、具体的に活動をすすめました。2019年度は、小規模法人のネットワーク化による協働推進事業国庫補助金を活用し、各テーマの活動を推進します。
----------------------------	---



【施設を活用した子ども食堂を試行しました】

■エリア単位の会議等への参加 ※「地区」は、市民交流センター域、「広域」は、市域を超えたもの

名称	エリア	主な参加・連携機関	参加回数
地域ケア会議	旧町	民生委員児童委員、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、介護保険事業所、健康福祉事務所、行政	48
老人福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会	市域	医師会、歯科医師会、民生委員児童委員連合会、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、商工会、介護支援専門員協会、健康福祉事務所、行政	1
障害者計画及び障害者福祉計画策定委員会	市域	医師会、民生委員児童委員連合会、身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、精神障がい者家族会、特別支援学校、事業所・施設、健康福祉事務所、行政	1
みはら家族会	市域	当事者、健康福祉事務所、ボランティアグループ、行政	12
南あわじ市のいのちを支える自殺対策計画策定委員会	市域	民児連、医師会、当事者団体、健康福祉事務所、労働基準監督署、弁護士会、住民代表、行政	1
南あわじ市介護支援専門員会	市域	居宅介護支援事業所、介護保険サービス事業所、地域包括支援センター、在宅介護支援センター、行政	12
南あわじ市主任介護支援専門員連絡会	市域	地域包括支援センター主任介護支援専門員、各事業所主任介護支援専門員	2

南あわじ市障害支援区分審査会	市域	医師会、病院、障害福祉サービス事業所、行政	12
「子どもの貧困対策」座談会	市域	主任児童委員、学校教育課、子育て支援課、健康課、福祉課	1
南あわじ市地域包括支援センター運営協議会	市域	医師会、司法書士会、歯科医師会、民児連、老人クラブ、健康福祉事務所、介護支援専門員	1
南あわじ市要保護児童対策地域会議	市域	家庭児童相談所、教育事務所、民児協、自治会、警察、学校、行政	1
あわじ暮らしの安全・安心ネットワーク会議	市域	県、消費者協会、警察、防犯協会、民児連、自治会、女性会、老人クラブ連合会	1
南あわじ市生活支援体制整備事業第1層協議会	市域	民児協、自治会、老人クラブ、NPO、在宅介護支援センター、行政、社協、第2層生活支援コーディネーター	2
南あわじ市障害者福祉施設運営委員会	市域	医師会、施設代表、当事者組織代表、民児連、自治会、健康福祉事務所、特別支援学校	1
南あわじ市総合防災訓練調整会議	市域	自治会、医師会、消防団、警察署、県民局、教育委員会、行政など	2
南あわじ市防災会議	市域	市長、自治会、医師会、消防団、警察署、県民局、教育委員会、行政、自衛隊、神戸气象台、商工会、いずみ会、農協、校長会など	1
南あわじ市における高齢者の見守り・SOSネットワーク会議	市域	包括、危機管理課、警察、消防、健康福祉事務所、在介、民生委員、施設関係	1
地域サポート施設制度意見交換会	市域	包括、施設関係者、行政、社協	2
障がい者のコミュニケーションに関する意見交換会	市域	当事者団体、難病支援団体、行政、社協	2
南あわじ市認知症初期集中支援チーム検討会議	市域	包括、健康福祉事務所、施設関係、医師、主任ケアマネ	1
南あわじ市人権教育研究協議会	市域	自治会、老人クラブ、女性会、民生児童委員協議会、人権擁護委員、手をつなぐ育成会、商工会など	5
淡路地域生活福祉・就労支援協議会	広域	兵庫労働局、洲本公共職業安定所、県社協、行政	1
あわじ特別支援学校の生徒にかかわる移行支援会議	広域	ハローワーク、障害者就業・生活支援センター、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、特別支援学校、健康福祉事務所、行政	3
淡路障害者自立支援協議会	広域	当事者団体、医療関係者、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、健康福祉事務所、行政	3
淡路障害者自立支援協議会運営委員会	広域	相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、健康福祉事務所、行政	7
淡路障害者自立支援協議会子ども連絡会	広域	小学校、特別支援学校、健康福祉事務所、教育事務所、子ども家庭センター、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、行政	8
淡路障害者自立支援協議会はたらく連絡会	広域	ハローワーク、健康福祉事務所、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、行政	3

淡路障害者自立支援協議会相談支援事業所連絡会	広域	相談支援事業所、特別支援学校、障害福祉サービス事業所、健康福祉事務所、行政	16
淡路障害者自立支援協議会居宅介護事業所連絡会	広域	居宅介護事業所、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、行政	3
淡路障害者自立支援協議会サービス管理責任者連絡会	広域	相談支援事業所、障害福祉サービス事業所	6
淡路障害者自立支援協議会くらす連絡会	広域	淡路島内3市社協	2
淡路障害者自立支援協議会つどい班	広域	相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、健康福祉事務所、行政	8
あわじ認知症ネット	広域	包括、健康福祉事務所、淡路医師会、新淡路病院、医療センター、3市社協、伊月病院、南淡路病院	1
淡路精神障害者生活支援連絡会	広域	医師会、精神科病院、障害福祉サービス事業所、健康福祉事務所、行政	12
ひきこもり地域連携ネットワーク会議	広域	3市健康課保健師、健康福祉事務所、3市社協、兵庫県企画県民部青少年課	2
兵庫県災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議訓練に係るワーキンググループ	広域	兵庫県民局、県社協、ひょうごボランタリープラザ、被災地NGO共同センター、日本災害救援ボランティアネットワーク、県内社協など	4
淡路精神障害者地域移行推進会議	広域	医師会、精神科病院、障害福祉サービス事業所、健康福祉事務所、行政	2

### (5) 緊急災害時に対応できるネットワークづくり【補助金・善意銀行・共同募金配分金】

第3次計画到達点・大規模災害が起こった時、救援体制がスムーズに整い、救援活動が行えるよう、行政や関係機関と協議を図りながら、災害救援マニュアルを改訂します。また、日頃の備えや自助、共助の意識啓発などを目的に、ぼうさいカフェや支え合い(防災)マップづくりなどを小地域で行います。

#### ■災害時救援協定の締結

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	南あわじ市地域防災計画に基づくセンターの設置及び運営等に関する必要な事項を定め、被災者等の生活の早期安定に寄与することを目的に、行政と協定を締結しました。
----------------------------	---

#### ■支え合い(防災)マップづくり

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	小地域での災害に対する備えや自助、共助の意識啓発、地域での災害支援活動の仕組みづくりを目的に、ぼうさいカフェや支え合い(防災)マップづくりなどのプログラムを地域の実情に合わせて実施しています。
----------------------------	--

#### ■災害救援マニュアルの見直し

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	東日本大震災や熊本地震における災害ボランティアセンター運営支援活動や、総合防災訓練の振り返りをもとに、行政や関係機関と協議を図りながら、災害救援マニュアルの改訂に着手しました。
----------------------------	--

#### ■防災訓練の実施

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	11月4日(日)に西淡中学校にて開催された市の総合防災訓練へ参加しました。今年度は災害ボランティアセンターの役割や運営について社協内部だけでなく、社会福祉法人連絡協議会、地域住民、ボランティアと連携し、被災者のニーズ調査を行いました。また、後日開催された市の防災訓練調整会議では、今後の防災訓練のあり方等について各種団体、行政との意見交換を行いました。
----------------------------	--

■ぼうさいカフェ

月日	取り組みの内容・成果・課題・今後の方向性等	参加者数	場所
H30.9.1	倭文長田地区が主体的に取り組んでいる個別避難計画について前自治会長橋本隆様よりお話をいただき、私たちができる地域の防災について話し合う場づくりを行いました。 緑地区におけるぼうさいカフェは、防災について住民同士が話し合う機会として定着してきており、今後は地域での支えあいマップづくりと連動しながら、自助・共助・公助の仕組みづくりにつながっていければと考えています。	47名	倭文地区公民館

■災害支援活動

- ・大阪府北部地震…義援金箱設置
- ・平成30年7月豪雨災害…義援金箱設置
- ・北海道胆振東部地震…義援金箱設置

【平成30年西日本豪雨救援活動】

甚大な被害が出た西日本豪雨災害の被災地支援として、市と協働し義援金・支援金を募集したほか、岡山県倉敷市真備町へ職員3名を派遣し、災害ボランティアセンター運営支援を行いました。また、島内3市社協が連携し、ボランティアバスを計4回運行しました。

月日	支援内容等	派遣人数	場所
H30.8.1 ~8.27	「倉敷市災害ボランティアセンターの運営支援」 ・「ニーズ担当」、「マッチング担当」として現地入りし4泊5日の行程で運営支援を行いました。 ※兵庫県内市町社協は岡山県内被災地を支援。	3名	岡山県倉敷市

月日	支援内容等	参加者数	場所
H30.7.31 ~8.30	「ボランティアバスの運行」 ・被災地での住居の片づけのほか、地域へ出向きグループによるニーズ調査等を行いました。	延べ60名	岡山県倉敷市



【いざという時のためのネットワークづくりをすすめました】

**取り組み② 尊厳が守られ自分らしく生活できるようにします**

**活動項目②-1 相談窓口の強化**

**(1) 相談窓口の強化【補助金】**

第3次計画到達点・住民のみなさまに相談しやすい社協として認識・信頼してもらえるよう、日々の相談事業を積み重ねていきます。関係機関、専門職とケース検討会や日々の仕事を通し、ともに連携し、解決に結びつく窓口をめざします。また、住民のみなさまに「相談して良かった」と思われる相談窓口をめざします。

**■ケース検討会の実施**

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	(地域)・事例共有会議・・・14回・支援調整会議(生活困窮・自立相談支援事業、プラン作成、評価)・・・4回 (居宅)・事例検討・・・毎週 (相談)・事例検討・・・毎週 多職種による事例検討会・・・月1回
----------------------------	--

**■職員の専門性、相談援助技術の向上**

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	各相談事業毎に事例共有会議、合同での事例検討会議を開催し、職員の抱え込みを防止する共に多職種が連携し、すべてのライフステージにおける切れ間のない支援体制の構築と社協の総合化をすすめています。また、各職員は積極的に研修を受講し、日々の相談技術向上に努めています。▪
----------------------------	---

**■相談記録の徹底と数値化**

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	事例共有会議を通し、相談自体を共有する意識は確立できつつありますが、記録を共有する仕組みについては、その議論を始めるまでに至っていないのが現状です。相談担当職員が不在時にも対応・支援が一定程度できるよう、相談記録を共有する体制づくりが急務と考えます。 また、引き続き多職種による合同の事例検討会議を開催し、全体での相談件数の数値化と分析力の向上に取り組んでいきます。
----------------------------	--

**■総合相談事業**

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
生	年	職	住	家	結	健	医	精	人	財	事	母	教	障	母	老	苦	合
		業			婚	康		神	権			子	育	害	子	人	情	
		・			・	・		衛	・			保	・	者	父	福	そ	
		生			離	保			法			健	青	児	子	福	の	
			宅	族	婚	健	療	生	律	産	故	社	年	社	社	社	他	計
計	金	業	宅	族	婚	健	療	生	律	産	故	社	年	社	社	社	他	計
188	15	26	22	43	2	22	13	20	11	18	0	4	12	22	9	104	8	539
113	18	28	21	22	4	27	16	21	11	12	1	3	5	44	32	64	74	516

※1件の相談で課題が重複しているケースあり。下段数字は、29年度のもの。

《相談経路》

相談者	本人	家族	隣人・知人	民生委員	医療機関	福祉・介護の専門職	行政	その他	計
件数	105	35	7	48	11	27	70	0	303
	174	48	14	64	7	41	81	3	432

※下段数字は、29年度のもの

■障がい者相談支援：市委託事業

障がいのある方の日常生活に関するさまざまな問題に対して相談支援を行っています。相談傾向を分析すると、「世帯構成員全員に支援が必要なケース」「医療とつながることに時間と労力が必要なケース」「サービス利用に至っても継続できないケース」「就労することに障害のあるケース」「適合する職場が見つからないケース」などが多く、既存のサービスでは対応できないのが現状です。

また、実人員は増加していますが、支援件数は減少しています。これは、1つのケースに向き合う頻度が減っているためで、事業所内で委託相談に関われる時間が確保できていないという現状があります。事業所内での支援体制を強化し、地域支援につなげていくことが課題です。

名称	開設日	時間
南あわじ市社会福祉協議会相談支援事業所	月曜日～金曜日	8時30分～17時15分

《過去5年間の相談者数》

対象	実人員		身体障害		重症心身障害		知的障害		精神障害		発達障害		高次脳機能障害		その他	
	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児	者	児
26年度	40	32	8	4	1	2	9	15	19	1	4	11	0	0	2	6
27年度	28	11	0	1	0	0	7	5	17	0	4	5	0	0	4	2
28年度	41	28	3	3	1	0	7	12	20	1	5	7	1	0	7	6
29年度	33	13	1	0	0	0	8	6	16	0	1	4	1	0	6	3
30年度	54	21	4	1	0	0	11	5	32	0	6	9	0	0	5	6

《支援内容》

福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に参加する支援	権利擁護に関する支援	その他	計
96	25	132	84	45	110	19	55	34	8	4	27	639
157	43	93	114	65	57	39	73	74	5	5	40	765

※下段数字は、29年度のもの



■生活福祉資金貸付事業・法外小口資金貸付事業

低所得世帯をはじめ障がいのある方や介護が必要な高齢者等のいる世帯に対して、資金の貸付と民生委員児童委員が必要な援助を行うことにより、経済的自立と生活意欲を高めると同時に在宅福祉及び社会参加を促し、世帯が安定した生活を営むことができることを目的として貸付をしています。また、法外小口資金は生活保護受給までの一時的な生活つなぎ資金という名目が大半を占めています。相談時から福祉課と連携を図りながら個々のケースに対応できた一方、地域との関係調整など世帯の自立に向けた連携と協働のあり方を検討していく必要があります。

資金種類		30年度	29年度	貸付（償還）中の件数
教育支援資金		3	0	38
福祉資金	生業を営むために必要な資金	0	0	0
	技能を習得するために必要な資金	0	0	0
	住宅の増改築や改修のために必要な資金	0	0	0
	福祉用具を購入するために必要な資金	0	0	0
	中国残留邦人の年金追納に必要な資金	0	0	0
	療養のために必要な資金	1	0	1
	介護・障害福祉サービスに必要な資金	0	0	0
	冠婚葬祭に必要な資金	0	0	1
	住居の移転等に必要な資金	1	0	6
	その他日常生活上一時的に必要な資金	0	1	4
	緊急小口資金	1	0	11
総合支援資金		0	2	27
不動産担保型生活資金		0	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		0	0	0
法外小口資金		59 (45)	48 (44)	

( ) 中数字は、年度内に償還が完了したもの

■日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、援助を行っています。生活困窮者自立支援事業で受けた相談の中には、金銭管理に不安を覚えている方もおり、本事業の利用も検討する等、相談を一体的に受け止め、相談者に必要な支援を考えていきます。2019年度は利用者の増加に伴い、生活支援員を臨時雇用するなど体制強化をすすめます。

相談件数 契約前	247 件	新規契約者数	6 人
相談件数 契約後	833 件	利用実人数	21 人

《対象者別契約者数》( ) 中数字は新規契約者数

契約者	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他
件数	4(2) 件	10(1) 件	7(3) 件	0 件

《過去5年間の支援回数》

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	延支援回数(回)
平成26年度	40	40	42	43	36	42	34	38	40	40	35	57	487
平成27年度	41	43	43	46	43	40	37	41	43	48	42	42	509
平成28年度	48	51	44	48	47	50	53	48	47	50	39	44	569
平成29年度	29	30	29	28	30	21	35	26	33	34	35	30	360
平成30年度	39	41	45	49	49	42	44	40	40	54	49	52	544

■ 弁護士と連携した無料法律相談

弁護士名	事務所名	連携内容
寺岡 良祐	菜の花法律事務所	奇数月の第3水曜日 旧緑庁舎 13時～16時 1人あたり30分まで

月	5月	7月	9月	11月	1月	3月	合計
相談者数	2	1	5	1	1	5	15

※内、2件は市外より

**(2) 相談支援体制の強化【補助金】**

第3次計画到達点・・・社協では、行政や関係機関と連携し、切れ目のない相談支援に取り組んでいます。次の5年間では、包括的な相談支援の仕組みの「見える化」に取り組み、南あわじ市における相談支援体制を構築します。

■ 庁内ネットワーク会議（隔月開催）※再掲

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	30年度は「就労困難者・定着困難者、ひきこもり者支援」に焦点をあて4回開催しました。4年目にして初めて公的機関以外からの参加者を得て、「就労困難者・就職定着困難者支援、ひきこもり者支援」に焦点をあてて実施しました。今後も市内における「就労」を取り巻く課題を整理し、今後取り組むべき具体的な方策について明らかにできるよう議論を重ねていきます。
----------------------------	--

■ 勉強会（隔月開催）※再掲

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	30年度は、5/17に明治安田生命保険相互会社神戸支社スタッフより「生命保険から見えるセカンドライフについて～知っておきたい暮らしとお金のセミナー～」、8/30には新淡路病院精神保健福祉士より「アルコール・ギャンブルなど依存症者への支援」、11/15南あわじ市社会福祉協議会なでしこデイサービスセンター臨床心理士より「対人援助職のメンタルヘルス」について、2/22「生活困窮世帯への支援方法について～教育に関する支援制度を中心に～」の計4回、南あわじ市役所福祉課と合同で実施しました。今後も職場や立場を超えて学びたい内容を持ちより自己研鑽に努めると共に、お互いの顔の見える関係性づくりを築き、より相談者に対してスムーズな対応が出来るよう継続して取り組んでいきます。
----------------------------	--

■ 包括的な相談支援体制構築に向けた研究会

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	・ 庁内ネットワーク会議で課題提起 ・ 地域力強化と包括的な支援体制整備対応セミナー参加
----------------------------	---



【包括的相談支援体制の構築に向けて行政・多機関と連携しました】

## 活動項目②-2 思いに寄り添ったサービスの開発・充実

### (1) ニーズに応じた地域福祉サービスの開発【補助金】

第3次計画到達点・地域資源の整理を行い、ニーズを把握、分析します。既存のサービスでは対応できないニーズに対し、住民と一緒に新たな事業を展開します。

#### ■ニーズの把握

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	ニーズ把握のための小地域でははなす会を実施できるよう支部運営員会等で検討しています。神代地区、沼島地区で「はなす会」を開催し、地域ニーズの把握をしました。
----------------------------	---

#### ■地域資源の把握

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	地域づくり協議会や、民生委員児童委員会・集いの場に参加することで地域資源を把握し、地区カルテに記入しています。
----------------------------	---

### (2) 地域福祉サービスの充実【補助金・受託金・共同募金配分金】

第3次計画到達点・開発したサービスや継続実施しているサービスについて、PDCAサイクルに基づき、計画(Plan)・実行(Do)・評価(Check)・改善(Act)するシートを作成し、定期的に見直す仕組みをつくることで地域福祉サービスの充実を図ります。

#### ■サービス評価シート

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	事業ごとに計画書・報告書を作成し、課題等についても記入し、事業終了後には部内での情報共有にも努めています。また、課題については、毎月開催のワーカー連携会議にて話し合う場を持ち今後の報告について検討できるようになりました。
----------------------------	--

#### ■利用者アンケート

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	事業ごとにアンケートを実施しています。結果については、部内において、内容の共有と毎月開催のワーカー連携会議にて振り返りを行っています。
----------------------------	---

#### ■車いす短期貸出

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	3	1	2	3	3	3	5	6	5	3	3	5	42
貸出数	3	1	2	3	4	3	5	6	5	3	3	25	63

## 活動項目②-3 介護保険・障がい福祉サービスの充実

### (1) 介護保険サービスの充実【介護報酬・事業収入】

第3次計画到達点・地域で暮らす一人の生活者という視点で利用者をとらえ、その人らしく生きられるように支援することを目指します。個別の課題から、地域の課題を抽出し、関係機関と連携しながら、必要な地域資源の拡充にも貢献していきます。

#### ■居宅介護支援事業

社協の居宅介護支援事業所として、地域住民・関係機関の理解を深めること、そして地域資源開発の視点を大切にして活動をすすめました。今年度も介護度にかかわらず、様々な経路からのケース依頼を受ける方針です。今年度の傾向としては、地域の民生委員・協力委員からの相談に応じる形で契約に結び付く割合が増えています。このようなケースでは、多くの生活上の課題が解決されないまま長い年月が経過し、生活がこれ以上立ち行かなくなっているケースが多く、対応するには利用者本人や家族はもとより、世帯を取り巻く地域への働きかけや、多くの関係機関との調整が必要となることがあります。そのような対応をすることで支援者としてのケアマネジャーも多くの機関との相互理解を深め、利用者個人・家族の課題、地域の課題に目を向け、多くの学びを得られる機会になっています。今後も複合的な課題を持つケースを積極的に受け、どのような課題に対しても正面から向き合い、真摯な対応をする事業所でありたいと思います。

ケアプラン作成件数は昨年度に比べて、延べ77件増加していますが内訳は、要支援1、要支援2の予防・総合事業のケース、要介護1のケースが伸びており、要介護2、3、4、5の件数はやはり減少傾向にあります。なかなか収益につながりにくい構造ではありますが、これまで通り、1件、1件を大切に対応していきたいと考えています。また、多職種が参加するケース検討会を継続し、困難事例への職員の対応力のさらなる強化を図り、市内外の研修会や事例検討会へも積極的に参加するほか、市のケアマネ会議で行う研修会の企画にも協力していきます。

2019年度も、実際のケースを通じた学びと、学習会や他機関との協力による学びの相互作用を図り、地域住民や関係機関から信頼を得られる事業所を目指します。

《ケアプラン作成件数》

※合計欄下段（ ）中の数字は、29年度のもの

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年度比
利用者数	154	156	156	158	159	159	158	164	165	163	160	163	1,915 (1,838)	+4.2%
要介護度別利用者内訳	支援1	33	34	32	36	37	37	36	37	38	37	38	435 (406)	+7.1%
	支援2	33	35	35	33	32	34	35	37	35	35	32	409 (344)	+18.9%
	1	47	45	45	43	43	41	43	43	45	45	48	534 (511)	+4.5%
	2	15	17	19	21	22	22	21	21	23	23	20	246 (274)	△10.2%
	3	13	13	13	13	13	12	12	12	11	11	10	143 (146)	△2.0%
	4	10	9	9	9	8	9	7	10	9	8	8	103 (105)	△1.0%
5	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	5	45 (52)	△13.0%

《要介護認定調査件数》

※合計欄（ ）中の数字は、29年度のもの

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計（件）
4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	8	8	57 (70)

【参考資料】南あわじ市介護保険被保険者数等の状況 出典：南あわじ市長寿保険課

1.被保険者の状況（単位：人）

	被保険者数	（うち前期高齢者数）	（うち後期高齢者数）
平成27年4月	15,505	7,291	8,214
平成28年4月	15,811	7,636	8,175
平成29年4月	15,905	7,667	8,238
平成30年4月	16,065	7,740	8,325

2.認定者数の状況（単位：人）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	認定率
平成27年4月	448	437	648	544	390	411	302	3,180	20.51
平成28年4月	516	440	697	498	394	360	305	3,210	20.30
平成29年4月	537	450	766	470	378	328	261	3,190	20.05
平成30年4月	608	461	765	452	362	331	224	3,203	19.94

3.介護給付費の状況（単位：円）

	居宅サービス費 （用具・住改舎）	居宅介護支援	地域密着型 サービス費	施設サービス費	高額サービス費	特定入所生活介 護サービス費	合計
平成27年4月	1,776,403,132	217,025,217	492,761,927	1,568,475,664	84,523,235	182,068,188	4,321,257,363
平成28年4月	1,702,163,639	211,048,267	592,651,375	1,583,155,015	83,457,132	188,045,817	4,360,521,245
平成29年4月	1,611,490,377	192,913,281	596,214,395	1,555,833,819	93,217,300	183,335,518	4,233,004,690
平成30年4月	1,571,092,272	192,284,827	611,591,006	1,479,575,781	79,007,810	181,775,932	4,115,327,628

## ■訪問介護事業

65歳以上の要支援または要介護状態にある人等を対象に、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、ホームヘルパーが利用者宅を訪問して、入浴、排せつ、食事等の介護や調理、洗濯、掃除、買い物等の家事を行う自立支援のための援助を行っています。

30年度は、前年比でみると利用者数がマイナス13%生活援助は若干回復傾向にありますが、身体介護は訪問回数、訪問時間共に昨年度より大幅に減少しました。これは、利用者の体調不良等(インフルエンザ含む)により、3日～1週間単位で入院する利用者が多かったことに加え、ショートステイを利用された利用者が数名いたこと、入所された方が2名、亡くなられた方が2名と想定を超えたことがマイナスの結果につながったと分析しています。

2019年度は、困難ケースを積極的に受け入れることに加え、要支援の利用者を増やし丁寧にサービスを提供することで要介護状態になっても在宅生活を託してもらえる事業所を目指した体制づくりをすすめます。

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年度比
利用者数		96	92	93	88	85	85	85	88	88	85	81	80	1,046人 (1,203人)	△13% (△3%)
身体介護	回数	542	515	491	451	395	393	413	438	470	405	362	363	5,238回 (5,823回)	△10% (△2%)
	延時間	541:50	505:10	491:50	449:30	385:20	385:40	283:40	299:46	312:55	279:38	254:52	288:50	4,479時間01分 (5,519時間20分)	△18% (△4.6%)
生活援助	回数	560	556	547	547	528	468	747	746	695	675	600	635	7,304回 (7,995回)	△8% (△3%)
	延時間	516:20	479:40	471:20	466:20	456:50	412:30	595:13	559:00	545:07	519:20	483:11	524:30	6,029時間23分 (6812時間00分)	△11% (△8.3%)

※合計欄下段、対前年度比下段( )中の数字は、29年度のもの

## (2) 障がい福祉サービスの充実【介護報酬・事業収入】

第3次計画到達点・質の高いサービスを提供できる体制が整うことで、利用者の思いに寄り添った支援を展開していきます。また、地域で暮らす人として普段から住民と地域、関係機関と一緒に見守り、助け合えるまちづくりをすすめていきます。あわせて、当事者が「助けて」と言える、孤立する人がいないまちづくりを目指します。

### ■障害者居宅介護事業

障害のある方の地域での生活を支えるために、ホームヘルパーが自宅を訪問して、入浴、排泄、食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事、生活等に関する相談や助言など、生活全般に渡る援助をおこなっています。

今年度は、移動支援と身体介護なしの通院介助が昨年度に比べると若干増加しましたがトータルではマイナス傾向となりました。これは、毎日型の利用者が入院したこと、それに伴い定期的におこなっていた通院介助が無くなったことが大きく影響しました。一方、移動支援では、これまで春・夏休みの間に移動支援を利用し外出していた利用者が秋以降にも休日にも利用があったこと、身体介助なしの通院介助では、知的障がいの利用者の利用が定期的におこなわれるようになったことが利用回数、利用時間の増加につながったものと考えます。

2019年度は、介護保険サービス同様、困難ケースを積極的に受け入れられるよう質の高いサービスが提供ができる職員の質の向上と体制づくりに努めます。

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	対前年度比
利用者数		31	29	30	29	31	31	32	31	31	30	31	29	365人 (360人)	+1% (△4%)

身体介護	回数	351	335	302	301	308	301	317	296	310	254	234	242	3,551 回 (4,086回)	△13% (0%)
	延時間	261:40	245:00	218:50	216:00	222:40	218:40	231:10	210:40	224:40	175:20	162:40	166:40	2554時間40分 (3,221時間00分)	△20% (+12.3%)
家事援助	回数	306	315	295	304	299	284	318	306	304	266	268	273	3,538 (3,581回)	△1% (0%)
	延時間	260:00	271:50	258:10	262:00	261:30	247:30	273:00	266:10	263:00	235:50	241:30	249:30	3,054時間00分 (3,014時間20分)	+1% (+4%)
移動支援	回数	25	22	24	20	22	16	26	22	24	20	22	26	269 回 (266 回)	+1% (△13%)
	延時間	15:30	11:00	12:00	10:00	14:00	8:00	13:00	11:00	12:00	10:00	17:00	16:00	149時間30分 (172時間00分)	△13% (△40%)
通所通学支援	回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 回 (0回)	0%
	延時間	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0 回 (時間)	0%
通院 (身体介護あり)	回数	7	6	9	6	7	4	7	7	8	3	1	1	66 回 (68 回)	△2% (+25%)
	延時間	21:30	20:10	26:00	20:00	25:00	14:00	18:00	24:20	26:00	10:40	5:00	5:00	215時間40分 (237時間10分)	△9% (+7%)
通院 (身体介護なし)	回数	6	9	9	9	9	11	14	12	13	13	7	2	114 回 (111回)	+3% (△6%)
	延時間	6:00	11:10	9:20	10:00	11:30	14:20	14:10	12:30	14:00	15:30	11:30	3:00	133時間10分 (135時間20分)	△1% (△11%)

※合計欄下段、対前年度比下段（ ）中の数字は、29年度のもの

### ■計画相談支援・障害児相談支援【事業収入(相談支援給付費)】

#### 《計画相談》

障害福祉サービスの利用を希望している方や緊急時にサービス利用を検討している方を対象に相談支援を行っています。利用者によってモニタリング期間が違っているため、月ごとの件数にはばらつきがあります。

サービス利用が生活の安定につながるケースばかりではないため、個別性を重視したケアマネジメントを行っています。

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	30年度	46	49	41	35	38	45	41	43	39	39	42	36	494
	29年度	34	34	42	29	36	33	45	41	38	36	38	43	449

#### 《児童相談》

発達に心配のあるお子さんの相談支援を行っています。手帳を所持しない未診断のお子さんや、母子ともに支援が必要なケースがあります。お子さんのライフステージに応じた支援機関と連携を図りながら、つなぐ支援を実践していきます。

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	30年度	35	33	32	35	34	27	35	35	40	27	33	47	413
	29年度	18	14	36	24	40	40	29	23	43	33	34	44	378

■地域定着支援【事業収入(地域定着支援サービス費)】

24時間365日住み慣れた地域でその人らしく生活できるように、日常生活全般を支援しています。居宅で単身等で生活する障がい者が対象となります。契約中のケースは1件で、長期入院中のため、大きな動きはありません。

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	30年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	11
	29年度	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

■生活介護(なでしこデイサービスセンター)

【サービス概要】

常時介護等を必要とする障がい者の方に、食事・入浴・排泄等の介護やレクリエーション、日常生活上の支援を提供しています。

【総括】

①レクリエーションの充実:年間計画に沿って、実施しました。大きな行事としては5月は遠足でうずしおクルーズに行き、8月は夏祭りを行い、12月はクリスマス会を行いました。ご家族様にも多数ご参加頂き、大変好評でした。その他にも毎月季節に応じた玄関の壁画作成は、児童発達・放課後等デイサービスで通所されるご利用者様やそのご家族様の楽しみにもなっており、作成する喜びや達成感につながっています。

②余暇支援:ご利用者様やご家族様とコミュニケーションを図る以外にも相談支援専門員が開催する個別支援会議に積極的に参加し、現在の生活や将来の生活に必要なこと、楽しみとしていること等をアセスメントし、職員間で共有・検討をしながら、本人や家族が望む暮らしにプラスとなるような個別の支援を導入してきました。結果、各ご利用者様の利用の目的・目標が明確となり、職員の支援の質の向上につなげることも出来ました。

③食事提供体制:検査や月1回のミーティングにおいて日々の食事について評価してきました。量・内容・組み合わせ・見た目など様々な視点で気付いたこと等や利用者の声や食べている様子等を栄養士と共有し、より良い食事提供に努めた結果、喫食率の向上につながりました。

④稼働率の安定:2月はショートステイや入院した利用者が多く稼働率が低下しましたが、その他の月は80%以上で安定しており、昨年度よりも大幅に稼働率が向上しました。

その他:今年度はやまぶき財団の助成金制度により、特殊浴槽を新調し、入浴業務の安全性の向上および効率化・浴室の省スペース化・職員の負担軽減を実現することができました。

【課題】

利用者の特性に応じた個別性の高い対応が少人数制により叶う一方で、それぞれの特性が影響しあい、マイナス面となってしまうこと、その状況に対し、各特性に応じた環境を作ることが出来ないことが昨年度から継続した課題となっています。職員がマンツーマンで付く、予防策を講じる等、トラブルや事故につながらないよう、安全面に配慮した運営に努めていきます。

●登録状況

市別	南あわじ市	洲本市	淡路市	計	新規	0
利用者数						
男性	4	6	0	10	中止	1
女性	4	6	0	10	終了	1

●障害支援区分の状況

区分	支援区分3	支援区分4	支援区分5	支援区分6	計	平均支援区分
利用者数						
男性	0	1	2	7	10	5.6
女性	0	0	2	8	10	5.8

●月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所した日数	21	22	21	21	20	18	22	21	21	20	20	20	247日
実人数	22	22	22	22	22	22	21	20	20	19	19	20	20.92人
延べ利用者数	176	196	178	179	167	163	182	171	182	162	155	167	延べ2,078人
稼働率 (%)	83.8	89.1	84.8	85.2	83.5	90.6	82.7	81.4	86.6	81.0	77.5	83.5	84.1%
29年度稼働率 (%)	75.5	70.9	73.1	82.3	77.1	75.2	78.0	68.6	87.5	79.0	77.0	80.0	76.9%

●曜日別利用登録数 1日定員10名

曜日	月	火	水	木	金
平成29年度	10	9	9	9	10
平成30年度	10	10	9	8	10

●行事(予定)

月	内容	月	内容
4月	花見	10月	外出ツアー
5月	遠足(うずしおクルーズ)	11月	創作
6月	作品作り	12月	クリスマス会
7月	七夕・おやつ作り	1月	お正月遊び
8月	夏祭り	2月	節分・おやつ作り
9月	外出ツアー	3月	創作



## 【児童発達・放課後等デイサービス総括】

今年度は、利用アンケートでニーズが明らかとなった、「発達検査」を始めました。時期的な偏りはあるものの、利用者や関係者からは月平均2.8件の検査依頼があり、なでしこの周知にもつながっています。加えて、発達検査をすることで、詳細に子どもの特性を知ることができ、得意なことを伸ばし不得意なことを補う療育を、より意識することができました。

また、検査技術や利用者へ検査結果をわかりやすく伝える方法を話し合ったり、職場内でケース検討会(27回)を実施する等、臨床心理士全体のスキルアップにも努め、3名が公認心理士の資格を取得しました。さらに、他(多)職種、関係機関、学校・園と連携を図り、10か月児健康診査への臨床心理士派遣、学校等訪問(月平均3.3件)、個別支援会議(月平均1.5件)への参画も積極的に実施し、事業所内だけでなく、地域に出向いて活動しました。

今年度は、稼働率も約12%増え、事業引継ぎ後、初めて黒字経営することができました。今後も安定した経営を継続させることが課題です。

### ■児童発達支援(なでしこデイサービスセンター)

サービス概要:未就学児を対象とした療育を行っています。(臨床心理士による個別訓練)

傾向と課題:登録者数は8名増となっています。また、2月から3月にかけて就学前児童の個別支援会議への参加依頼が増え、日程調整も含め、児童や保護者の就学に対する不安にどう寄り添うかが課題となりました。来年度は10か月健診に加え、市が主催する「遊びの教室」へ臨床心理士を派遣することとなり、保健師や相談支援専門員、保育園等とつながることで、なでしこの臨床心理士や作業療法士が実施する療育の強みを周知し、卒園で14名減となる利用者を増員することにつなげます。

### ●登録状況

(人)

市別 利用者数	南あわじ市	洲本市	淡路市	計
男児	24 (20)	10 (10)	1 (1)	35 (31)
女児	5 (4)	4 (1)	0 (1)	9 (6)

### ●月別利用状況 (※稼働率は、児童発達支援と放課後等デイサービスの両サービス合わせてのもの)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所した日数	20 (21)	21 (19)	23 (21)	21 (21)	23 (22)	19 (22)	21 (21)	21 (20)	20 (21)	20 (20)	20 (20)	21 (22)	250 (250)
実人数	33 (24)	34 (22)	35 (21)	35 (26)	36 (31)	35 (35)	35 (34)	40 (38)	38 (39)	40 (42)	41 (42)	41 (45)	443 (399)
延べ利用者数	92 (75)	101 (64)	121 (76)	108 (85)	109 (88)	97 (119)	95 (90)	109 (104)	111 (109)	101 (109)	111 (100)	124 (142)	1,279 (1,161)
稼働率(%)	96.7	95.7	99.6	103.2	105.8	95.7	94.3	103.6	106.7	96.2	107.6	112.7	101.5%
29年度 稼働率(%)	74.5	76.4	81.4	86.8	96.5	92.6	80.5	97.3	99.5	97.1	82.9	107.0	89.3%

●その他の活動状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業所見学	1	1	0	2	1	1	1	1	1	1	0	0	10
インターク	3	1	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	11
保育所等訪問	1	3	1	2	0	0	1	1	0	3	0	0	12
個別支援会議	0	0	1	0	0	0	1	1	0	2	1	2	8
発達検査	0	2	0	0	3	0	2	2	0	0	1	1	11

■放課後等デイサービス（なでしこデイサービスセンター）

サービス概要：小学生を対象とした療育を行っています。（臨床心理士による個別訓練）

取り組み：夏休みにグループ療育を6回、冬休みに3回（内6回は市の保健センター於）実施しました。広い会場が借りられたことで、身体を使ったグループ療育ができました。集団活動でしか訓練できないコミュニケーション力や社会性があるため、子どもや保護者からの評価は高く、「続けてほしい」と希望が寄せられました。

傾向と課題：登録者は19名増となりました。そのため、祝祭日はもとより、平日も予約がいっぱいで、利用者の希望通りに予約がとれず、利用回数の制限や予定変更等に柔軟に対応できなかったり、個別支援会議への参加も難しい状況がおきています。希望者の多いグループ療育も、1日10名の定員が壁となり、来年度の継続が難しい状況となっています。また、6年生でなでしこの支援が切れる児童については、関係機関との連携を密にし、先を見据えた支援の輪が広がるようにすることも課題です。

●登録状況

(人)

市別 利用者数	南あわじ市	洲本市	淡路市	計
男児	43 (30)	26 (22)	3 (2)	72 (54)
女児	16 (15)	5 (4)	4 (5)	25 (24)

●月別利用状況（※稼働率は、児童発達支援と放課後等デイサービスの両サービス合わせてのもの）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所した日数	17 (16)	19 (18)	18 (17)	18 (17)	20 (19)	17 (18)	19 (18)	18 (18)	17 (17)	17 (17)	17 (17)	17 (18)	214 (210)
実人数	84 (70)	83 (74)	83 (71)	88 (72)	86 (75)	81 (72)	87 (67)	87 (75)	86 (66)	85 (69)	91 (61)	92 (74)	1033 (846)
延べ利用者数	111 (89)	119 (104)	108 (95)	119 (106)	145 (134)	104 (94)	122 (87)	119 (110)	113 (100)	101 (95)	115 (74)	124 (104)	1,400 (1,192)
稼働率(%)	96.7	95.7	99.6	103.2	105.8	95.7	94.3	103.6	106.7	96.2	107.6	112.7	101.5%
29年度 稼働率(%)	74.5	76.4	81.4	86.8	96.5	92.6	80.5	97.3	99.5	97.1	82.9	107.0	89.3%

●その他の活動状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業所見学	0	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	6
インテーク	0	2	0	1	2	1	1	0	0	1	1	0	9
学校等訪問	0	1	10	4	0	0	2	4	3	0	1	3	28
個別支援会議	1	0	0	1	2	1	0	1	0	1	2	1	10
発達検査	0	4	2	3	8	1	0	1	0	2	0	2	23

～多機能型事業所の壁を通じた交流～

なでしこデイサービスセンターは、子どもが通所する児童発達支援・放課後等デイサービスの事業と、18歳～64歳の方が通所する生活介護の事業を運営する多機能型事業所です。それぞれ通所する利用者同士で挨拶程度はしますが、直接交流する機会はありません。しかし、生活介護の利用者が毎月季節に合わせて玄関の壁に作成する壁画を見て、子どもたちが「あっ、壁が変わってる!」「今度はお雛さまや」「見て見て、はらぺこあおむし〜♪」と、嬉しそうに言ってくれており、子どもだけでなく、お母さん方も楽しみに見ている様子が伝わってきます。児童指導員は子どもたちに「来ているお兄さんやお姉さんが作ってくれたんだよ。」と伝えています。

直接交流することは無くても、通所する玄関は1つ。こうした何気ない日常のやりとりから、玄関の壁画を通して自然に交流が生まれていたことに気付きました。今後も楽しみにしてくれている方たちのために生活介護の利用者は壁画作成に励むことでしょう。



## 取り組み③ 誰もがつながりあえる人づくり・場づくりに取り組みます

### 活動項目③-1 見守り・支え合いをすすめる人づくり

#### (1) 学校・地域での福祉学習の推進【補助金】

第3次計画到達点・学校関係者を対象に福祉学習研修会を行い、福祉学習の内容を検証し、振り返りを行い、協同してプログラムづくりを行います。それを基に作成した学校向け福祉学習パンフレットを配布し、市内すべての学校での福祉学習の実施を目指します。福祉学習や福祉の出前講座を実施し、参加した人が自分の地域のことや、相手の気持ちを理解し、近隣の人の暮らしに目を向けることで、活動できる人を増やします。

#### ■福祉学習プログラム

今年度は手話体験・当事者による講話、知的障害者疑似体験などの講師派遣の費用を共同募金の配分金を活用することとし、市教育委員会と連携しアンケートを実施し、校長会などで説明を行った結果、市内の22校中14校で活用いただき、これまで以上に学校と協働したプログラムづくりをすすめることができました。また、地域向けの福祉学習や出前講座を実施し、参加した人が自分の地域のことや、相手の気持ちを理解し、近隣の人の暮らしに目を向けることで、気づきを活動につなげられる人を増やしています。

#### 【学校での福祉学習プログラム】

月日	内 容	学校名
H30.9.14	聴覚障がいのある当事者の方の講話、手話学習	湊小学校
H30.9.20	点字体験学習	八木小学校
H30.10.9	視覚障がいのある当事者の方の講話、点字学習	湊小学校
H30.10.11	視覚障がいのある当事者の方の講話、点字学習	市小学校
H30.10.12	視覚障がいのある当事者の方の講話、アイマスク・白杖体験	賀集小学校
H30.10.16	視覚障がいのある当事者の方の講話、アイマスク・白杖体験	榎列小学校
H30.10.19	視覚障がいのある当事者の方の講話、アイマスク・白杖体験	神代小学校
H30.10.22	車いす体験、アイマスク・白杖体験	八木小学校
H30.10.26	高齢者疑似体験	西淡志知小学校
H30.10.29	手話学習	倭文小学校
H30.11.13	アイマスク・白杖体験	広田中学校
H30.11.15	車いす体験	広田中学校
H30.11.20	視覚障がいのある当事者の方の講話、点字学習	福良小学校
H30.11.27	視覚障がいのある当事者の方の講話、アイマスク・白杖体験	北阿万小学校
H30.12.6	聴覚障がいのある当事者の方の講話、手話学習	福良小学校
H30.12.7	車いす体験、アイマスク・白杖体験	市小学校
H31.1.18	視覚障がいのある当事者の方の講話、アイマスク・白杖体験	西淡中学校
H31.1.24	車いす体験	西淡中学校
H31.1.31	聴覚障がいのある当事者の方の講話、手話学習	西淡中学校
H31.2.15	聴覚障がいのある当事者の方の講話、手話学習	松帆小学校
H31.2.27	アイマスク・白杖体験	広田小学校

#### 【地域での福祉学習プログラム】

月日	内 容	活動名・サロン名
H30.4.3	ボランティアセンターだより配布	あずまサロン
H30.4.13	防災学習会	中筋いきいきサロン
H30.5.9	ボランティアセンターだより配布	サロンいがの
H30.5.24	ボランティアセンターだより配布	仁尾いきいきサロン

H30.5.29	ボランティアセンターだより配布	沼島おのころサロン
H30.6.20	消費者協会による出前講座	山添なかよし会
H30.6.28	ボランティアセンターだより配布	仁尾いきいきサロン
H30.7.16	ふれあい食事会	ふれあいながた
H30.7.20	防災マップづくり	山添なかよし会
H30.7.23	ボランティアセンターだより配布	新田北いきいきサロン
H30.7.26	ボランティアセンターだより配布	仁尾いきいきサロン
H30.8.26	ボランティアセンターだより配布	網屋にこにこサロン
H30.9.27	ボランティアセンターだより配布	仁尾いきいきサロン
H30.10.1	DVD観賞・ボランティアセンターだより配布	あずまサロン
H30.10.2	工作出前講座・ボランティアセンターだより配布	なでしこ
H30.10.6	ボランティアセンターだより配布	北納屋サロン
H30.10.9	防災学習会・ボランティアセンターだより配布	潮美台にこにこサロン
H30.10.10	手芸出前講座・ボランティアセンターだより配布	サロンいがの
H30.10.15	ボランティアセンターだより配布	さくらサロン
H30.10.17	人権学習・ボランティアセンターだより配布	雁子いきいきサロン
H30.10.19	人権学習・ボランティアセンターだより配布	サロンえじり
H30.10.20	工作出前講座・ボランティアセンターだより配布	岡東サロン
H30.10.23	ボランティアセンターだより配布	新田北いきいきサロン
H30.10.25	レク出前講座・ボランティアセンターだより配布	仁尾いきいきサロン
H30.10.26	ボランティアセンターだより配布	いきいきサロンIN西路
H30.11.6	レク出前講座・ボランティアセンターだより配布	沼島おのころサロン・沼島ふれあいサロン
H30.11.7	工作出前講座・ボランティアセンターだより配布	ふれあいサロン松田
H30.11.29	ボランティアセンターだより配布	小榎列サロン
H30.12.11	防災学習・ボランティアセンターだより配布	潮美台にこにこサロン
H30.12.12	工作出前講座・ボランティアセンターだより配布	ふれあいサロン松田
H30.12.20	ボランティアセンターだより配布	十一ヶ所スマイルクラブ
H30.12.21	脳トレ体操出前講座・ボランティアセンターだより配布	中筋いきいきサロン
H31.1.10	ボランティアセンターだより配布	サロン睦会
H31.1.16	ボランティアセンターだより配布	伊毘きさらぎ会
H31.1.16	ボランティアセンターだより配布	おしゃべりカフェ
H31.1.17	人権学習・ボランティアセンターだより配布	つつい行きたくなるお楽しみ会
H31.1.18	工作出前講座・ボランティアセンターだより配布	岡東サロン
H31.1.22	レク出前講座・ボランティアセンターだより配布	沼島おのころサロン・沼島ふれあいサロン
H31.1.24	工作出前講座・ボランティアセンターだより配布	おたふくいきいきサロン
H31.2.2	ボランティアセンターだより配布	北納屋サロン
H31.2.6	ボランティアセンターだより配布	おしゃべりカフェ
H31.2.13	ボランティアセンターだより配布	サロンいがの
H31.2.14	ボランティアセンターだより配布	小榎列サロン
H31.2.19	ボランティアセンターだより配布	かめさんクラブ
H31.2.19	ボランティアセンターだより配布	いきいき長寿の会

H31.2.20	体操出前講座・ボランティアセンターだより配布	岡東サロン
H31.2.22	人権学習・ボランティアセンターだより配布	いきいきサロンIN西路
H31.2.25	ボランティアセンターだより配布	さくらサロン
H31.3.1	ボランティアセンターだより配布	あずまサロン
H31.3.3	工作出前講座・ボランティアセンターだより配布	サロンみなかみ
H31.3.5	ボランティアセンターだより配布	沼島おのころサロン・沼島ふれあいサロン
H31.3.10	体操出前講座・ボランティアセンターだより配布	西本サロン
H31.3.15	工作出前講座・ボランティアセンターだより配布	しずおりわかばサロン
H31.3.18	工作出前講座・ボランティアセンターだより配布	岡東サロン
H31.3.20	ボランティアセンターだより配布	山添なかよし会
H31.3.28	ボランティアセンターだより配布	しらさぎ



### 【学校や地域での福祉学習のようす】

#### ■貸出機材の貸出と整備

毎年年度当初に各小・中学校へ福祉学習ハンドブックを配布していることで、福祉学習に関する相談も増えています。併せて福祉機材の貸出も増加傾向にあります。

機材名	数量	貸出数	主な貸出先
車いす	20	31	八木小学校、広田中学校、八木小学校、西淡志知小学校
白杖	20	148	賀集小学校、榎列小学校、神代小学校、八木小学校、広田中学校、北阿万小学校、市小学校、西淡中学校、広田小学校、洲本市社協
点字盤	50	107	神代小学校、八木小学校、市小学校、福良小学校、倭文小学校
アイマスク	50	107	神代小学校、八木小学校、市小学校、福良小学校、倭文小学校
疑似体験装具	10	17	蒼開高等学校、西淡志知小学校、国立淡路青少年の家、地域包括支援センター

#### ■福祉資材の貸出と整備

地域のつながりやイベントなどで使用するため、サロンやボランティアグループ・地域づくり協議会などから福祉資材の貸出が増えてきています。

資材名	数量	貸出数	主な貸出先
テント	6	16	緑花づくりの会、榎列・倭文地域づくり協議会、瓦とひなの会
音響セット	2	4	人形劇団わややん
室内グラウンドゴルフゲーム	1	5	網屋にこここサロン、くま志ろサロン、放課後子ども教室、あずまサロン、中田サロン

綿菓子機	1	5	賀集地区納涼祭等
ポップコーン機	1	11	ふれあいながた、丸山自治会、灘地域づくり協議会 サロンえじり、阿那賀地域づくり協議会
かき氷機	1	4	神代地区民生児童委員、潮美台地区体育協会 等
ビンゴゲーム機	1	4	ふれあいながた、更生保護女性会、イーブン 淡路緑支部、中筋いきいきサロン
輪投げ	2	8	倭文地域づくり協議会、中田サロン、あずま サロン、いがのサロン
的あてゲーム	1	2	榎田老人会
射的セット	1	1	
コミュニケーション麻雀	2	4	山添なかよし会、湊サロン、網屋にこここサロン等
その他	-	25	広田地域づくり協議会、いずみ会緑支部、食と文 化の市民まつり実行委員会、阿那賀地区公民館、 いきいきサロンIN西路、いがのサロン

### ■学校との連携

取り組みの内容 (成果・課題・今 後の方向性等)	今年度は、学校における福祉教育をさらに推進するため、手話体験や当事者による講話、知的障害者疑似体験などの講師派遣の費用を共同募金の配分金を活用することにしました。市教育委員会と連携してアンケートを実施するなどした結果、市内22校中15校が活用し、具体的なプログラムづくりを学校と協働してすすめることができました。
--------------------------------	--

### ■ふくしの出前講座

各地区で展開しているサロンや集いに、講座を手法とし職員が参加しました。地域情報の把握を行い、地区カルテに記入していくことができました。

講座メニュー	具体的な内容・成果・課題	回数
社協ってどんなところ？	「社会福祉協議会」の活動や地域福祉のことについて、地域に出向いて説明を行いました。	6
み〜あ劇団	各地区で開催されている敬老会等で、地域住民とともにみ〜あ劇団として福祉寸劇を行いました。	4
出張防災カフェ	DVD・防災クロスロードゲームを通じて地域の防災意識の向上に努めました。	16
レクリエーション	各地区で開催されているふれあい・いきいきサロンにて、体操等の指導を実施しました。	31
防災（支え合い）マップづくり	マップ作りなどを通して地域の防災意識の向上に努めました。	2
介護保険について	サービスを使いたいときはどうすればよいかなど介護保険制度について講話を行いました。	1
講習その他	地域の診療所から講師をサロンに調整したほか、人権ビデオ等を活用し、人権意識や健康意識の向上につなげました。	18

## (2) ボランティアの育成と支援【補助金】

第3次計画到達点・福祉学習などで芽生えた「気づき」を活動に変えていけるよう、ボランティア活動の事例発表などを通じたボランティア養成講座や研修会を実施することで、活動者を発掘し、増やすことを目指します。また、ボランティアセンターを運営し、懇談会や交流会の実施や、ボランティア保険の推奨、助成金などの情報が気軽に手に入れられるよう広報誌やホームページなどでPR活動を行うことで、安心、継続した活動ができるよう環境を整えます。

### ■ ふくしの出前講座（P38再掲につき省略）

### ■ ボランティア養成講座

新たなボランティアを発掘するために入門講座を実施し、これまで関わりのなかった方にも参加いただきました。また、講座終了後に新たにボランティア登録をし活動を始められた方もいます。その他、専門的な担い手の育成やスキルアップのための権利擁護講座も開催しました。

### ■ サマーチャレンジボランティア2018

ボランティア活動がいつでも・どこでも・誰にでもできる幅広い活動であることへの理解を広め、参加意欲の促進を図ることを目的として、高校生以上の方を対象に、夏休みの期間にボランティア募集を呼びかけ実施しています。

月日	取り組みの内容・成果・課題・今後の方向性等	参加者数	活動先
7月～9月	夏休みの期間を活用し、体験できる具体的なボランティア活動の情報提供と調整を行い、ボランティア体験を行っていただきました。今後ますます地域における見守りなどが重要視される中、学校や地域でのボランティア学習を行い、ボランティアの重要性や必要性・活動者への発掘・育成に努めます。	延べ 132名	認定こども園松帆南・松帆北、いちばん星、子育て学習支援センター、ウインズ、緑風館、ふれあい、元気の家、福良こども園等

### ■ 朗読ボランティア初級講習会（再掲）

月日	取り組みの内容・成果・課題・今後の方向性等	参加者数
H30.4.5 H30.4.12 H30.5.31 H30.6.7 H30.6.14 H30.6.28	朗読ボランティア初級講座 視覚障がい者や視力の低下した高齢者などを対象に、音声での情報提供を行うボランティアを支援すること、また、朗読技術の習得や向上を目的として開催しました。	延べ88名

### ■ ささえ愛ボランティア養成講座（ボランティア入門講座）

月日	講座・研修名	内容	参加者数
H30.7.12 H30.7.19 H30.7.23 H30.7.27	ささえ愛ボランティア養成講座 (ボランティア入門講座)	人とのつながりが希薄になっている中、住民相互の見守りや声掛けができる小地域づくりをすすめるため、地域でのボランティア育成を目的に実施しました。	延べ47名

■生活支援員養成（権利擁護）講座

誰もが住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせる地域づくりを目指し、認知症や障がいなどにより判断能力が不十分な方が日常生活自立支援事業を適切に利用できるしくみづくりを進めるとともに、地域における権利擁護の推進を図ることを目的に実施しました。今年度の講座では、ピアサポーターが自身の障がい、リカバリーに向けた経験から「地域共生社会の実現」に向けたメッセージが伝えられました。

月日	取り組みの内容・成果・課題・今後の方向性等	参加者数
H31.3. 6	「エンディングノート書き方講座」を実施。NPO法人エンディングノート普及協会より講師を招いて、今後の自分の権利を守ることで学ぶことができました。	22
H31.3. 14	「障がいピアサポーター発ご互い様講座」を実施。淡路障害者生活支援センターより、現在活動中のピアサポーターを講師として招き、ピアサポーターの活動を知るとともに、障がい者が生活しやすい地域について学びを深めました。	13
H31.3. 19	「権利を守る制度を知ろう！」を実施。地域包括支援センター、社協職員が成年後見制度、日常生活自立支援事業について説明し、権利を守る制度について学びを深めました。	14



【第1回目、第2回目の講座はケーブルテレビにて放映されました】

■コーディネート

ミニデイサービス、配食サービスが終了したことにより、在宅高齢者へのコーディネート件数が減少しています。それらの活動にこれまで関わっていたボランティア活動者の新たな活動先の開拓が求められています。また、10月より市の「おもしろポイント制度」が開始したことにより、これまで社協でマッチングしていたボランティアも制度を利用する方が増えたため、マッチング数、相談件数ともに減少しています。

対象		コーディネート件数	ボランティア活動者数
在宅	高齢者	83 件	27 人
	障がい者・児	128 件	59 人
	その他	4 件	3 人
施設・病院		195 件	125 人
行政機関		103 件	38 人
市民活動団体		38 件	14 人
学校（福祉学習を含む）		23 件	7 人
その他		57 件	43 人

## ■ボランティア相談

小・中・高等学校での福祉学習の成果から、学生や社会人の方など若いボランティアの登録が増えています。ボランティア登録者が高齢化している現状を踏まえ、福祉学習などを通して若い世代等へアプローチし、人材の確保や育成にこれまで以上に取り組んでいきます。また、社協のネットワークを活用し、地域や各福祉施設・行政・学校等と連携したボランティア調整にも取り組んでいきます。

対象	件数	対象	件数
一般住民	56 件	社会福祉協議会	23 件
ボランティア・市民活動団体	28 件	福祉団体	8 件
施設（福祉事業者等）・病院	51 件	学校・教育機関	22 件
行政機関	27 件	その他	20 件

## ■吉備国際大学地域貢献ボランティア・学生受け入れ

期間	受け入れ人数	内容
H30.5.18 H30.8.3	2名	なでしこデイサービスセンターでの利用者の話し相手・見守り他 活動時間：9：00～16：00

## ■トライやる・ウィーク体験活動生徒受け入れ

期間	受け入れ人数	内容
H30.9.10～9.14	西淡中学より2名	コミュニティワーカー・ヘルパーなど社協内各事業所での仕事体験 活動時間：9：00～15：00

## ■実習生の受け入れ

期間	受け入れ人数	内容
H31.1.7～2.28	1名	社会福祉士実習

## ■ボランティア保険の加入

ボランティア活動中の事故に備え、安心して活動が行えるよう「ボランティア・市民活動災害共済」等の加入促進を図りました。

種 別	人（件）数	掛金（円）
兵庫県ボランティア・市民活動災害共済	940 人	471,000
兵庫県ボランティア活動等行幸用保険	8 件	23,500
兵庫県移送サービス交通傷害保険	0 名	0

## ■福祉学習ハンドブックの配布

種別	校数	配布冊数
小学校	16校	32冊
中学校	6校	12冊

## ■企業向け福祉学習パンフレットの配布

配布先	配布数
市内事業所	0

## ■ボランティアセンターだより・生活支援コーディネーターだよりの発行

発行回数	12回（毎月）
発行部数	4,000 部

■広報わかばの発行【会費・共同募金配分金・事業収入】



発行回数	4 回
発行部数	69,200 部

※新聞折込による。沼島地区は、出張所を通じて配布。

■ボランティア登録状況

新たに3グループのボランティア団体登録と、個人ボランティア3名の登録がありました。今後は、ボランティアグループの活動状況の調査を行い、新たなボランティアの発掘に取り組めます。

地区 活動種別	みどり	せいだん	みはら	なんだん	合計	個人
	福祉施設訪問や福祉施設内での活動・行事のお手伝い	2 (42)	2 (36)	8 (88)	5 (96)	17 (262)
地域の高齢者や障がい者を支援する活動	9 (183)	11 (139)	17 (231)	6 (182)	43 (735)	77
子どもや青少年の健全育成のための活動	2 (28)	4 (67)	3 (22)	4 (1114)	13 (1231)	10
地域の行事やお手伝い	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (39)	3 (39)	0
自然や環境保護の活動	0 (0)	7 (133)	2 (17)	7 (85)	16 (235)	0
その他の活動	0 (0)	3 (38)	0 (0)	2 (12)	5 (50)	9

上段数字は、グループ・団体数。下段の（ ）中数字は、登録人数。

■ボランティアニーズ調査

現在、市内の87グループがボランティアセンターに登録し、長年にわたり、地域のさまざまな分野で活躍しています。地域のニーズに合ったボランティア活動の開発について検討するために、現在の活動状況や今後の活動に対する希望、ボランティアセンターに対する要望、意見を調査しました。

期間	実施件数
9月中	87グループ

※集計結果より

現在のグループの実態と活動内容について把握する機会となりました。登録グループの半数以上がボランティア助成金やボランティアセンターからの活動先の紹介等の支援を受けており、それらは活動する上で大きな役割を担っていることが分かりました。また、活動は多岐にわたり、幅広く市内で活動を展開していますが、長年活動しているグループが多く、高齢化による活動者の減少等から存続が難しいといった声も聞かれました。一方、ボランティアセンターの認知度は低く、活動者でさえ存在を知らない方がいたため、今後はボランティアセンターの周知に力を入れ、他機関とも連携した活動先の発掘に努めていく必要があります。

## 活動項目③-2 気軽に集える場づくり

### (1) 住民同士が気軽に集える場の推進【補助金、共同募金配分金】

第3次計画到達点・家族や地域のつながりの希薄化・閉じこもり予防などには公的なサービスだけでは防ぐことができません。お互いを気にかける見守りのように身近なところでのゆるやかな関わりが大切だと考えます。身近な集いの場を増やしていくことで、お互いを気にかける地域づくりを目指します。

#### ■地域のつどいの場の把握

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	各地区の地域づくり協議会や活動に参加することで地域住民から情報を得られ、これまで把握できていなかったつどいの場に参加することができました。
----------------------------	---

#### ■ふれあい・いきいきサロン (P4再掲につき省略)

#### ■支部まつり

月日	内容	事業名
H30.11.10	舞台発表、体験学習コーナー、販売コーナー、福祉寸劇など	なんたん福祉まつり
H30.11.23	舞台コーナー、抽選会、昔遊びなど	みどりふれあい福祉のつどい
H30.12.1	舞台発表、販売コーナー、体験・遊びコーナーなど	せいだんふれあい交流のつどい
H31.2.17	地域福祉フォーラム 集いが育む地域の力～集楽活動のススメ～	みはら福祉の集い



【旧町エリアで力合わせ、つながりづくりをすすめています】

### (2) 当事者同士がつながり合える場づくり【補助金】

第3次計画到達点・同じ悩みや思いを抱えた方がつながり合える当事者の集いの場が、定期的開催されることで「助けて」と言える地域づくりを目指します。また、当事者や家族の思いを地域や行政に伝えていくことで、誰もが住みよいまちづくりにつなげていきます。

#### ■つながりサロン

市内の障がい者などを対象に、2ヶ月に1回気軽に集まれる場を開催しています。内容や企画については参加者と話し合って決めており、参加者からは「自分の思いを話せる場になっているので継続して実施してほしい」「一人ではできないことも、みんなで取り組めるので良い」などの声がありました。

しかし、前年度に比べ、事業所の休日のレクリエーションの充実や就労等の理由から参加者の減少や固定化が見られます。今後は、以前参加のあった方への聞き取りなど通じて、改めて当事者のニーズを聴き取り現状を分析し、2019年度以降の活動について検討します。

月日	内容	参加者数	場所
H30.4.7	お花見・かごづくり	10名	南あわじ市中央公民館
H30.6.2	食事会・カラオケ・買い物ツアー	10名	イオン南淡路店
H30.8.18	音楽療法・かき氷づくり（くらす連絡会と合同実施）	13名	南あわじ市中央公民館
H30.10.27	地域ふれあい祭に参加	9名	新淡路病院生活支援センター
H30.12.1	クリスマス会	11名	南あわじ市中央公民館
H31.2.23	おしゃべり会（くらす連絡会と合同実施）	13名	南あわじ市中央公民館

### ■スポーツ交流教室

障がいのある方がスポーツを通じてさまざまな方と出会い、一緒になって体を動かし交流できることを目的に取り組みを始めた活動です。今年度は参加者から意見をいただき、様々な内容に取り組みました。毎回参加される方も多く、友人などを誘って参加するなど新たな参加者も増加傾向にあります。今後も参加者とともに企画を行い、さらに活動の普及・啓発に努めます。

月日	内容	参加者数	場所
H30.5.27	障がい者・児の社会参加の機会を増やし余暇の充実を図ることを目的として、定期的にスポーツを通して交流できるスポーツ交流教室を開催。三原健康広場にて卓球を実施。	9名	三原健康広場
H30.7.21	障がい者・児の社会参加の機会を増やし余暇の充実を図ることを目的として、定期的にスポーツを通して交流できるスポーツ交流教室を開催。三原健康広場にて、次回の交流試合に向けたフットサルの練習を実施。	7名	三原健康広場
H30.9.22	障がい者・児の社会参加の機会を増やし余暇の充実を図ることを目的として、定期的にスポーツを通して交流できるスポーツ交流教室を開催。今回は洲本市社協、新淡路病院とフットサルを通じて交流を図った。	11名	中川原ふれあいセンター
H30.11.23	障がい者・児の社会参加の機会を増やし余暇の充実を図ることを目的として、定期的にスポーツを通して交流できるスポーツ交流教室を開催。今回は利用者の意向もあり、バレーフットサルを実施。	6名	西淡社教センター
H31.1.26	障がい者・児の社会参加の機会を増やし余暇の充実を図ることを目的として、定期的にスポーツを通して交流できるスポーツ交流教室を開催。今回はフットサルの交流試合に向けて、練習を実施。	4名	三原健康広場
H31.3.2	障がい者・児の社会参加の機会を増やし余暇の充実を図ることを目的として、定期的にスポーツを通して交流できるスポーツ交流教室を開催。今回は3市社協、新淡路病院、関西総合リハビリテーション専門学校、関西医療大学とフットサルを通じて交流を図った。	6名	洲本市文化体育館



【当事者の交流と学びの場づくりをすすめています】

■くらす連絡会

月日	内容	参加者数	場所
H30.8.18	・南あわじ市障害福祉計画について ・最近の生活について	13名	中央公民館
H30.11.4	・南あわじ市総合防災訓練への参加	14名	西淡中学校
H31.2.23	・余暇支援活動について ・来年度の活動について	14名	中央公民館

■視覚障がい者パソコン教室

視覚障がい者が、パソコン操作やインターネット等を学ぶことで、情報を自ら得て、新たな友達とつながり、社会との結びつきができるよう、また、当事者が地域で自分らしくいきいき暮らすことができるようになることを目指して実施しています。今年度の実施にあたっては、行政より市内の該当される当事者に案内を出していただき参加者の拡充を試みましたが、新たな参加者はありませんでした。2019年度は、市の障害福祉課と連携して当事者ニーズ、音声パソコン普及率等の実態を把握するほか公民館のパソコンサークル等と連携しサポーターの育成と障害者の理解促進に努めます。

月日	内容	参加者数	場所
H30.4.28	音声パソコンの使い方について	7名	中央公民館
H30.5.19	音声パソコンの使い方について	7名	中央公民館
H30.6.9	音声パソコンの使い方について	7名	中央公民館
H30.7.1	音声パソコンの使い方について	7名	中央公民館
H30.8.25	音声パソコンの使い方について	7名	中央公民館
H30.9.16	音声パソコンの使い方について	7名	中央公民館
H30.10.20	音声パソコンの使い方について、年賀状の作成について	7名	中央公民館
H30.11.17	音声パソコンの使い方について、年賀状の作成について	7名	中央公民館
H31.1.19	音声パソコンの使い方について	7名	中央公民館
H31.2.16	音声パソコンの使い方について	7名	中央公民館
H31.3.16	音声パソコンの使い方について	7名	中央公民館

■おしゃべりサークル

外国の子育て中の親子が気軽に情報交換でき、交流できる場として定期的を開催してきました。ここ数年、毎回参加者は日本人親子がほとんどで、本来の目的は達成したと評価し、おしゃべりサークルとしては今年度をもって終了します。

しかし、事業を進める中で、参加者から『平日はゆめるんセンター等気軽に出かける場があるが、土日は少ない。』『乳幼児の遊べる環境(転倒防止マット等)が整っていないため出かけられる場が限られている。』といった子育て中の親の想いを把握しており、今後は、当事者や関係機関と連携を取りながら、「集い場づくりの支援」、「子育て中のサロンの立ち上げ」等ニーズに応じた新たな活動の開発について検討していきます。

月日	内容	参加者数	場所
H30.7.14	夏の工作づくり(風りん)、かき氷	2名	緑市民センター
H30.9.8	秋のデザートづくり	11名	南あわじ市 中央公民館

H30.12.8	クリスマス簡単ケーキづくり	14名	南あわじ市中央公民館
H31.2.9	牛乳パックde万華鏡	12名	市公民館

### ■よか（余暇）サークル

長期休暇中の障がい児の余暇支援と保護者のレスパイトを目的としたサークルです。今年度は夏休み中に5回開催し、多くの方にご参加いただきました。活動を通して、支援者の輪がひろがるとともに、当事者と地域とのつながりも深まっています。一方、参加者層がひろがったことで、障がい特性に対するより専門的な知識や緊急時に対応できるスタッフや借り上げ可能な広い場所の確保が課題となっています。

月日	内容	参加者数	場所
H30.7.30	プール（あわじ特別支援学校）	22名	松帆公民館
H30.8.4	親子交流（バーベキュー）	21名	淡路青少年交流の家
H30.8.10	調理・音楽	31名	湊公民館
H30.8.22	障がい者スポーツ体験会	6名	元気の森ホール
H30.8.27	外食・買い物	40名	福良公民館

### ■家族会

取り組みの内容 （成果・課題・今後の方向性等）	家族会への関わりを通して、保健師や病院、ピアサポーター等との連携はすすんでいます。ひきこもりなど、地域の中で孤立している家族の実態は十分把握できていないのが現状です。ささえ合いマップづくり等を通して、「防災」の視点からも地域の発見力を高め、住民の障がい等への理解をすすめていきます。
----------------------------	---



【つなぐ・つながる・つなぎあう】

## 重点目標B 「活動をすすめるための組織基盤づくり」

### 取り組み① 経営組織強化

#### (1) 事務局体制の整備【補助金】

第3次計画到達点・「法人運営部(仮称)」を設置し、人事管理と人事考課など、事業の見直しを通して効率的で自立した組織運営が行えるような体制を目指します。また、個別の相談支援から制度改正や社会情勢の変化など、様々な状況に対応できる総合的な事務局体制を整備します。

##### ■事務局体制の再編

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	今年度は、職員の退職・異動に伴い業務分掌を見直し、現員の事務局体制で活動をすすめてきました。また、行政への職員派遣計画をチャンスと捉え、職員の育成と職員採用に取り組んだ結果、2019年度の事務局体制が整えられました。今後もやりがいをもって働き続けられる職場づくりをすすめます。
----------------------------	--

##### ■目標管理シートの作成

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	今年度は、職員ごとの業務量の精査、目標値の設定と評価が課題として明らかになったことから、事業所内・職員間で目標と成果が共有できる目標値の設定に着手しました。目標値を共有し成果を上げた事業所がある一方、入院・死亡等による利用者変動に大きく影響された部分もありました。2019年度は、専門性や資格を生かした多様な「はたらきかた」について研究・協議していきます。
----------------------------	--

#### (2) 理事会・監事会・評議員会の機能強化【会費・事業収入】

第3次計画到達点・理事会、監事会、評議員会がその役割と機能を果たせるような組織体制をつくり、社協が地域福祉の推進を担える組織体制を整えます。

■理事監事会( )内数字は、監事の出席人数。【 】内数字は、オブザーバーの出席人数。

日時	内容	出席者数	場所
H30.4.20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修 「高齢者等元気活躍推進事業について」 南あわじ市ふるさと創生課職員より</li> <li>・協議事項</li> <li>①理事の構成について</li> <li>②役員、評議員候補者について</li> <li>③役員等改選スケジュールについて</li> </ul>	12/14 (2)	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室
H30.6.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告事項</li> <li>①平成29年度一般会計収支予算補正について</li> <li>②定款の変更について</li> <li>③評議員選任結果について</li> <li>・審議事項</li> <li>①平成29年度事業報告について</li> <li>②平成29年度一般会計決算報告について</li> <li>③監査報告</li> </ul>	11/14 (2)	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室
H30.6.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告事項</li> <li>①理事選任結果について</li> <li>・審議事項</li> <li>①副会長の解職及び選定について</li> </ul>	14/14 (2) 【1】	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室
H30.8.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告事項</li> <li>①西日本豪雨災害の対応について</li> <li>②第1四半期の活動報告について</li> <li>(1)収支状況</li> <li>(2)各部・事業所の活動状況</li> </ul>	14/14 (2) 【1】	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室

H30.9.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告事項</li> <li>①西日本豪雨災害の対応について</li> <li>・協議事項</li> <li>①高齢者等元気活躍推進事業（おもいやりポイント制度）の試行について</li> <li>②旧三原法務局について</li> </ul>	14/14 (2) 【1】	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室
H30.11.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告事項</li> <li>①なでしこデイサービスセンター特殊浴槽の入れ替えについて</li> <li>・審議事項</li> <li>①次回評議員会の日程及び審議事項について</li> <li>・協議事項</li> <li>①生活困窮者自立支援事業について</li> <li>②旧三原法務局について</li> </ul>	14/14 (2) 【1】	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室
H30.12.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告事項</li> <li>①定款の変更について</li> <li>②入札結果について</li> <li>・審議事項</li> <li>①平成30年度上半期事業報告について</li> <li>②平成30年度上半期一般会計収支決算報告について</li> <li>③平成30年度第1次補正予算について</li> <li>④なでしこデイサービスセンター特殊浴槽等入替工事契約について</li> <li>⑤評議員会の日程及び審議事項について</li> <li>・協議事項</li> <li>①評議員候補者について</li> </ul>	14/14 (2) 【1】	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室
H31.1.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告事項</li> <li>①なでしこデイサービスセンター特殊浴槽の入れ替えについて</li> <li>・審議事項</li> <li>①法外援護小口資金貸付規程の変更について</li> <li>②法外援護小口資金貸付規程の細則について</li> <li>③貸し倒れ損失の処理にかかる規程について</li> <li>④評議員会の日程及び審議事項について</li> <li>・協議事項</li> <li>①南あわじ市の生活支援体制整備事業について</li> </ul>	13/14 (2) 【1】	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室
H31.3.18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告事項</li> <li>①定款変更について</li> <li>②職員の異動について</li> <li>・協議事項</li> <li>①平成30年度第2次補正予算案について</li> <li>②平成31年度事業計画案について</li> <li>③平成31年度一般会計収支予算案について</li> <li>④大型連休の取り扱いについて</li> </ul>	13/15 (2)	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室



【理事監事会は、役職員が共に学ぶ場でもあります】

■監事監査

月日	内容	場所
H30.5.18	<p>【サービス提供に必要な人員確保に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な人材を確保するため、労働条件の整備等に努めること。民間事業者の取り組み等も参考に、良質なサービスを提供できる体制構築に努めること</li> </ul> <p>【職員等研修に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●研修については、職員研修に加えて役員研修も事業報告書に記載すること。また参加人数や成果についても記載することが望ましい。</li> </ul> <p>【その他事業全般についての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●事業報告書に記載する表については統一性をもたせるなど、見やすく分かりやすい表を作成すること。また、今後のサービス等の改善に役立てられるような数字の積み上げと分析を行うこと。</li> <li>●活動や事業の課題については、これまで以上に踏み込んだ具体的対策を記述し、改善に取り組むこと。</li> <li>●相談機能強化のため、弁護士や司法書士等との連携に努めること。また、市民後見人の養成や法人後見にも積極的に取り組むこと。</li> </ul>	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室
H30.11.22	<p>【事業全般についての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●経営状況の改善が必要な事業については、具体的な数値目標を掲げて取り組むこと。一方、法人全体の経営状況が改善の方向に進んでいることを発信することも必要。</li> <li>●活動や事業の記述については、結果の分析に留まっているので、見通しを立てた具体的対応策を記述すること。そうすることで②の経営改善にもつながる。</li> <li>●表彰などの功績についても事業報告書に記載すること。</li> <li>●事業報告書については、さらに見やすく分かりやすい表記に努めること。</li> <li>●説明用のパワーポイントと配布資料の関係性が分かるような工夫があるとよい（配布資料のページ番号など）</li> </ul>	旧緑庁舎 第3会議室

■評議員会（ ）の数字は役員の出席人数

日時	内容	出席者数	場所
H30.6.25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告事項</li> <li>①平成29年度一般会計収支予算補正について</li> <li>②定款変更について</li> <li>・審議事項</li> <li>①平成29年度事業報告について</li> <li>②平成29年度一般会計収支計算書類等の報告について</li> <li>③監事監査結果報告</li> <li>④定款変更について</li> <li>⑤理事の選任について</li> </ul>	27/30 (1)	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室
H30.12.13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告事項</li> <li>①定款の変更について</li> <li>②なでしこデイサービスセンター特殊浴槽等入替工事にかかる入札結果および契約</li> <li>・審議事項</li> <li>①平成30年度上半期事業報告について</li> <li>②平成30年度上半期一般会計収支決算報告（監事監査結果報告）について</li> <li>③平成30年度第1次補正予算について</li> </ul>	27/30 (2)	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室

H31.3.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告事項</li> <li>①定款の変更について</li> <li>②職員の異動について</li> <li>・審議事項</li> <li>①平成30年度第2次補正予算案について</li> <li>②平成31年度事業計画案について</li> <li>③平成31年度一般会計収支予算案について</li> </ul>	24/30 (2)	緑庁舎 第3会議室
----------	---	--------------	--------------



【評議員会のようす】

■評議員選任・解任委員会

日時	内容	出席者数	場所
H30.5.31	報告事項 ①退任する評議員について 協議事項 ①評議員の選任について	5/5	南あわじ市 旧緑庁舎 202会議室
H30.12.4	報告事項 ①退任する評議員について 協議事項 ①評議員の選任について	5/5	書面による決議

■支部長会議

日時	内容	出席者数	場所
H30.4.20	理事会の振り返り・経営課題の協議・支部活動報告と共有	4/4	南あわじ市 旧緑庁舎 202会議室
H30.6.4	理事会の振り返り・経営課題の協議・支部活動報告と共有	4/4	南あわじ市 旧緑庁舎 202会議室
H30.8.6	理事会の振り返り・経営課題の協議・支部活動報告と共有	4/4	南あわじ市 旧緑庁舎 202会議室
H30.9.10	理事会の振り返り・経営課題の協議・支部活動報告と共有	4/4	南あわじ市 旧緑庁舎 202会議室
H30.11.2	理事会の振り返り・法人募金、特別会費の推進について	4/4	南あわじ市 旧緑庁舎 202会議室
H30.12.4	理事会の振り返り・経営課題の協議・支部活動報告と共有	4/4	南あわじ市 旧緑庁舎 202会議室
H31.1.25	理事会の振り返り・経営課題の協議・支部活動報告と共有	4/4	南あわじ市 旧緑庁舎 202会議室
H31.2.20	理事会の振り返り・31年度活動について協議	4/4	南あわじ市 旧緑庁舎 202会議室

■支部運営委員会 (P10再掲につき省略)

■経営会議

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	今年度は、経営状況について、月次報告書を理事監事会に提出し共有したほか、職員一人ひとりが経営に参画するという意識のもと、事業所単位の会議で事業運営について検討しました。2019年度は運営持続可能な組織づくりに向けた議論を、行政と連携しすすめます。
----------------------------	---

### (3) 財政基盤の強化【会費・事業収入】

第3次計画到達点・自主財源の確保など、継続的・安定的な財務運営に取り組み、安心して地域福祉を推進していけるようにします。また、善意銀行の用途が検討できる場を持ち、住民の善意を有効に活用できるようにします。

#### ■会員(一般・賛助・特別)の拡大

##### 《一般会費》

地区	金額	件数	市	金額	件数
広田	498,000	996	市	420,000	840
倭文	198,000	396	神代	339,000	678
松帆	489,000	978	倭文	61,500	123
湊	300,000	600	志知	97,500	195
津井	195,000	390	福良	703,500	1,407
阿那賀	219,500	439	賀集	454,000	908
伊加利	64,500	129	北阿万	265,000	530
志知	86,500	173	潮美台	236,500	473
榎列	403,000	806	阿万	443,500	887
八木	350,500	701	灘	114,000	228
			沼島	70,000	140
			計	6,008,500	12,017

##### 《賛助・特別会費》

地区	金額	件数
みどり	255,000	102
せいだん	4,140	1
みはら	0	0
なんだん	36,500	3
計	295,640	106



#### ■共同募金運動への協力

(円)

広域目標額	地域目標額	歳末目標額	目標額合計	実績額
883,000	9,000,000	1,200,000	11,083,000	10,381,211



##### 【募金内訳】

募金方法	実績額(円)	件数
戸別募金	6,307,550	件数 11,835 戸
街頭募金	122,685	回数 19 回
法人募金	2,368,640	件数 749 件
学校募金	193,976	学校数 41 件
職域募金	179,468	職域数 15 件
その他募金	102,292	件数 59 件
歳末たすけあい募金	1,106,600	件数 11,757 戸

※期間中に受入した募金のみ記載

##### 【戸別募金(一般募金・歳末募金)】

地区	金額	件数	市	金額	件数
広田	643,400	950	市	528,400	832
倭文	275,300	403	神代	409,100	677
松帆	548,900	887	倭文	55,900	123
			志知	114,000	167

湊	409,500	585	福良	770,400	1,407
津井	177,850	373	賀集	635,600	908
阿那賀	252,500	445	北阿万	371,000	530
伊加利	84,500	129	潮美台	283,100	433
志知	122,900	227	阿万	521,400	869
榎列	400,400	794	灘	159,600	228
八木	552,400	802	沼島	98,000	140



■ 共同募金配分金の活用（配分計画）

	事業分類	件数	金額（円）	備考
高齢者	日常生活支援	2	125,000	ひとり暮らし見守り訪問
	社会参加・まちづくり支援	5	732,277	ふれあい・いきいきサロン、三世交代りほか
	社会福祉施設支援	0	0	
	その他の地域福祉支援	0	0	
	災害対応・防災	0	0	
	小計	7	857,277	
障害児・者	日常生活支援	1	30,000	障害者生活支援事業
	社会参加・まちづくり支援	2	95,000	社会参加事業ほか
	社会福祉施設支援	0	0	
	その他の地域福祉支援	2	10,500	要約筆記活動支援・コミュニケーション支援
	災害対応・防災	0	0	
	小計	5	135,500	
児童・青少年	日常生活支援	0	0	
	社会参加・まちづくり支援	7	238,000	ふれあい芋掘り交流・親子日帰りバスツアーほか
	社会福祉施設支援	2	80,000	鼓笛隊楽器の購入・世代交流
	その他の地域福祉支援	4	90,000	らんらんバス 見どころマップ作成事業ほか
	災害対応・防災	0	0	
	小計	13	408,000	
住民その他	日常生活支援	0	0	
	社会参加・まちづくり支援	8	630,000	福祉のつどい・集いと学びの場
	社会福祉施設支援	0		
	その他の地域福祉支援	22	6,215,112	世代交流・高齢者見守り訪問ほか
	災害対応・防災	1	26,000	ボランティアセンター
	小計	31	6,871,112	
合計		56	8,271,889	

■善意銀行（寄付金）の募集

(ア) 金銭預託

No.	月 日	地 区	預 託 者	預 託 内 容
1	10月25日	賀集	藤江 隆人	地域福祉のため
2	11月22日	賀集	藤江 隆人	地域福祉のため
3	11月26日	八木	NAK淡路島支部	歌謡祭チャリティー募金として
4	12月1日	阿那賀	更生保護女性会西淡支部	ハザー売上金の一部として
5	12月10日	北阿万	北阿万中学校第11期同窓会「午未会」	地域福祉のため
6	12月17日	市	濱口 晴一	亡父の供養として
7	12月25日	賀集	藤江 隆人	地域福祉のため
8	12月18日	南あわじ市	西淡民生委員児童委員協議会	ハザー売上金の一部として
9	1月24日	倭文	武田 真英	亡祖母（しづゑ様）の供養として
10	1月24日	賀集	藤江 隆人	地域福祉のため
11	2月1日	阿万	金剛講阿万支部	地域福祉のため
12	2月13日	市	土居 敬治	亡母（かや子様）の供養として
13	2月20日	市	昭和34年卒市中学校同窓会世話人代表 仲田武明	地域福祉のため
14	2月28日	賀集	藤江 隆人	地域福祉のため
15	3月1日	広田	匿名	地域福祉のため
16	3月1日	広田	匿名	地域福祉のため
17	3月6日	福良	蓮池 洋美	地域福祉のため
18	3月28日	賀集	藤江 隆人	地域福祉のため

(イ) 物品預託

No.	月 日	地 区	預 託 者	預 託 内 容
1	10月1日	五色町	(有)フードショップわたなべ	フルタブ
2	10月1日	榎列	まほろばサロン	ペットボトルのふた・フルタブ
3	10月1日	洲本市	明治安田生命保険相互会社 神戸支社淡路営業所	ペットボトルのふた・フルタブ
4	10月1日	市	在田 千恵	ペットボトルのふた・フルタブ
5	10月1日	阿万	あずまサロン	ペットボトルのふた
6	10月1日	津井	津井地域づくり協議会	ペットボトルのふた
7	10月3日	湊	土井 久司	古切手
8	10月3日	灘	灘市民交流センター	ペットボトルのふた
9	10月3日	潮美台	潮美台交流センター	ペットボトルのふた
10	10月3日	潮美台	庄田 夕起	ペットボトルのふた
11	10月3日	潮美台	庄田 照美	ペットボトルのふた
12	10月3日	市	辻川 美恵子	ペットボトルのふた
13	10月4日	榎列	小榎列サロン	ペットボトルのふた・古切手
14	10月4日	神代	濱口 敬治	紙おむつ・ペットボトルのふた
15	10月4日	神代	神代地区公民館	ペットボトルのふた
16	10月4日	神代	(株)イチカワ	古切手・フルタブ
17	10月4日	市	市小学校	ペットボトルのふた
18	10月4日	市	三原ショッピングプラザパーティ	ペットボトルのふた
19	10月5日	神代	原口 幸三	紙おむつ
20	10月5日	丸山	坂本 トシ子	ペットボトルのふた
21	10月9日	阿那賀	匿名	ペットボトルのふた
22	10月9日	阿那賀	瀬尾 弘澄	古切手
23	10月10日	広田	淡路更生保護サポートセンター	ペットボトルのふた
24	10月10日	北阿万	吉見 明美	ペットボトルのふた

25	10月10日	湊	鍛冶山 るり子	ペットボトルのふた・ブルタブ・古切手
26	10月11日	八木	八木病院	ペットボトルのふた
27	10月11日	八木	廣瀬 知弘	ペットボトルのふた・ブルタブ・ベルマーク
28	10月11日	松帆	志知川百歳体操	ペットボトルのふた・ブルタブ
29	10月11日	松帆	志知川サロン（しらさぎ）	ペットボトルのふた・ブルタブ
30	10月12日	潮美台	潮美台二丁目自治会	ペットボトルのふた
31	10月12日	神戸市	おてらおやつクラブ	和菓子・タオル
32	10月15日	湊	小畠 民子	古切手
33	10月15日	福良	斉藤 楽江	ペットボトルのふた
34	10月16日	阿万	海づり公園メガフロート	ペットボトルのふた
35	10月17日	市	門田 初代	ペットボトルのふた
36	10月18日	福良	尙石田商店	ペットボトルのふた・古切手
37	10月19日	阿那賀	喜田 進	ペットボトルのふた
38	10月19日	八木	赤松 強	食材
39	10月19日	松帆	西淡中学校	古切手
40	10月22日	広田	ネスレ日本親楽会淡路地区	コーヒー
41	10月22日	山添	三宅 文子	ペットボトルのふた・ブルタブ
42	10月22日	不明	匿名	毛糸
43	10月22日	湊	奥畑 広二	ブルタブ
44	10月23日	湊	森田 美恵子	ペットボトルのふた
45	10月23日	八木	(株)三陸	ペットボトルのふた・ブルタブ
46	10月23日	松帆	鴻原瓦産業	古切手
47	10月23日	北阿万	新田北サロン	ペットボトルのふた
48	10月24日	松帆	サロンえじり	ペットボトルのふた
49	10月25日	広田	匿名	古切手
50	10月25日	広田	橋本 まゆみ	ペットボトルのふた・ブルタブ
51	10月25日	南あわじ市	消費者協会	ペットボトルのふた
52	10月25日	松帆	小林 佳奈	ブルタブ
53	10月26日	潮美台	匿名	ハガキ
54	10月26日	市	森下 笑子	ペットボトルのふた
55	10月26日	湊	みなとふれあいサロン	ペットボトルのふた
56	10月26日	湊	みなといきいき百歳体操愛好会	ブルタブ
57	10月26日	阿万	阿万小学校	ペットボトルのふた
58	10月29日	広田	匿名	古切手
59	10月29日	福良	匿名	古切手
60	10月30日	榎列	榎列小学校	ペットボトルのふた
61	10月30日	湊	菊川建材(株)	ペットボトルのふた
62	10月30日	沼島	匿名	ペットボトルのふた
63	10月30日	神代	神代地区公民館	ペットボトルのふた
64	10月31日	広田	匿名	ペットボトルのふた
65	10月31日	南あわじ市	南あわじ市教育委員会	ペットボトルのふた
66	11月2日	北阿万	元気の森ホール	ペットボトルのふた
67	11月2日	志知	船本 恵司	ペットボトルのふた
68	11月2日	松帆	匿名	ペットボトルのふた・古切手
69	11月2日	福良	(株)エシエルケア	ペットボトルのふた
70	11月2日	八木	看護り処花もり	ペットボトルのふた・ブルタブ
71	11月2日	福良	(株)あべいすと	ペットボトルのふた
72	11月2日	福良	安部 則行	ペットボトルのふた

73	11月2日	福良	安部 幸代	ペットボトルのふた
74	11月2日	福良	桜木 進	ペットボトルのふた
75	11月2日	福良	波戸崎 のぶ子	ペットボトルのふた
76	11月2日	福良	寺岡 まり子	ペットボトルのふた
77	11月2日	福良	谷間 りえ子	ペットボトルのふた
78	11月2日	福良	坂本 勢吉	ペットボトルのふた
79	11月2日	福良	荒木 允章	ペットボトルのふた
80	11月2日	福良	岡本 治	ブルタブ
81	11月5日	松帆	社会福祉法人みかり会	ペットボトルのふた・ブルタブ
82	11月5日	潮美台	潮美台一丁目自治会	ペットボトルのふた
83	11月5日	潮美台	松坂 壽仁	古切手・ベルマーク
84	11月5日	潮美台	潮美台二丁目自治会	ペットボトルのふた
85	11月5日	伊加利	湯の川荘	ペットボトルのふた
86	11月7日	広田	的崎 恵美	ペットボトルのふた
87	11月7日	松帆	鴻原 理恵	ペットボトルのふた
88	11月7日	湊	前川石油(株)	古切手
89	11月8日	松帆	登里 邦子	ペットボトルのふた
90	11月8日	不明	匿名	ペットボトルのふた
91	11月8日	松帆	松帆小学校	ペットボトルのふた・古切手
92	11月8日	洲本市	(株)大幸	古切手
93	11月9日	市	喜田 健二	ペットボトルのふた・ブルタブ
94	11月9日	湊	土井 久司	古切手
95	11月9日	賀集	賀集地区公民館	ブルタブ
96	11月12日	湊	鍛冶山 るり子	ペットボトルのふた・ブルタブ
97	11月12日	南あわじ市	南あわじ市消費者協会	ペットボトルのふた
98	11月12日	賀集	三原ファーム(株)	古切手
99	11月12日	神代	神代地区公民館	ペットボトルのふた
100	11月13日	広田	匿名	使用済プリペイドカード
101	11月13日	市	在田 千恵	ペットボトルのふた・ブルタブ
102	11月13日	五色町	(有)フードショップわたなべ	ブルタブ
103	11月13日	広田	なでしこデイサービス	ペットボトルのふた
104	11月13日	阿那賀	匿名	ペットボトルのふた・古切手・ベルマーク
105	11月14日	三原	三原志知小学校	古切手
106	11月15日	洲本市	明治安田生命保険相互会社 神戸支社湊路営業所	ペットボトルのふた
107	11月16日	倭文	ふれあいながた	ペットボトルのふた
108	11月16日	八木	中八木花かざりの会	ペットボトルのふた
109	11月16日	賀集	三洋エナジー南淡株式会社	ペットボトルのふた
110	11月19日	潮美台	長尾 嘉昭	ペットボトルのふた
111	11月19日	広田	藤江 キヨエ	ペットボトルのふた・古切手・ベルマーク
112	11月20日	不明	本濱 まなみ	ペットボトルのふた・ベルマーク
113	11月20日	松帆	沖 さよみ	ブルタブ
114	11月20日	松帆	馬部 はるみ	ブルタブ
115	11月21日	榎列	平山 成美	ペットボトルのふた・ブルタブ
116	11月22日	阿那賀	喜田 進	ブルタブ
117	11月26日	南あわじ市	南あわじ消費者協会	ペットボトルのふた
118	11月26日	八木	翁寿園	ペットボトルのふた・ブルタブ
119	11月26日	福良	福良こども園	ペットボトルのふた
120	11月27日	市	十一ヶ所スマイルクラブ	ペットボトルのふた

121	11月27日	神代	山谷 真一郎	ペットボトルのふた・古切手
122	11月28日	湊	大橋 薫	ペットボトルのふた・ブルタブ
123	11月29日	阿那賀	柴田 友子	ペットボトルのふた
124	11月29日	阿那賀	竹中 順子	ペットボトルのふた
125	11月27日	神代	佐和 悠真	のりもの・アルバム
126	11月30日	倭文	金崎 詳継	古切手
127	11月30日	志知	山口 幸江	ペットボトルのふた
128	11月30日	洲本市	せんけい苑	ペットボトルのふた
129	12月3日	広田	みどりが丘自治会	ペットボトルのふた
130	12月3日	伊加利	清水 邦久	ブルタブ
131	12月3日	阿那賀	素川 富子	ブルタブ
132	12月3日	松帆	山口 ふく枝	ブルタブ
133	12月3日	洲本市	須恵 美月	ペットボトルのふた
134	12月3日	阿那賀	豊田 智恵子	ペットボトルのふた
135	12月3日	津井	神代地区公民館	ペットボトルのふた
136	12月3日	阿那賀	魚彩館	ペットボトルのふた
137	12月3日	津井	津井地域づくり協議会	ペットボトルのふた
138	12月3日	八木	向原 凜	ペットボトルのふた
139	12月3日	市	匿名	紙おむつ
140	12月4日	八木	(株)淡路島牧場	ペットボトルのふた
141	12月4日	八木	八木病院	ペットボトルのふた
142	12月5日	広田	岡田 多美子	ペットボトルのふた
143	12月5日	八木	美菜恋来屋	ペットボトルのふた
144	12月5日	湊	下村 康博	ペットボトルのふた・ブルタブ
145	12月5日	湊	湊地区公民館	ペットボトルのふた
146	12月5日	洲本市	明治安田生命保険相互会社 神戸支社淡路営業所	ペットボトルのふた
147	12月6日	湊	(有)浜野電機	洗濯機
148	12月6日	阿那賀	喜田電気商会	電子レンジ
149	12月6日	福良	(株)あべいすと	ペットボトルのふた
150	12月6日	福良	安部 則行	ペットボトルのふた
151	12月6日	福良	谷間 りえ子	ペットボトルのふた
152	12月6日	福良	波戸崎 のぶ子	ペットボトルのふた
153	12月6日	福良	寺岡 まりこ	ペットボトルのふた
154	12月6日	福良	桜木 進	ペットボトルのふた
155	12月6日	福良	坂本 勢吉	ペットボトルのふた
156	12月6日	福良	安部 幸代	ペットボトルのふた
157	12月6日	市	辻川 美恵子	ペットボトルのふた
158	12月6日	倭文	匿名	古切手
159	12月7日	洲本市	いちえ福祉会	ブルタブ
160	12月7日	阿那賀	藤村 正人	ブルタブ
161	12月7日	八木	赤松 強	ブルタブ
162	12月10日	津井	匿名	衣類
163	12月10日	潮美台	潮美台二丁目自治会	ペットボトルのふた
164	12月10日	八木	匿名	絵本・木製パズル
165	12月12日	阿万	嶋本 ひろ子	ペットボトルのふた
166	12月12日	榎列	ふれあいサロン松田	ペットボトルのふた
167	12月12日	神代	ウインズ	ペットボトルのふた
168	12月12日	倭文	吉田 悦子	ペットボトルのふた

169	12月13日	北阿万	江本 京子	ペットボトルのふた
170	12月13日	北阿万	江本 摩耶	ペットボトルのふた
171	12月13日	松帆	喜田 昌子	ペットボトルのふた
172	12月13日	福良	福良こども園	ペットボトルのふた
173	12月13日	丸山	山崎 洋子	ペットボトルのふた
174	12月13日	丸山	丸山市民交流センター	ペットボトルのふた
175	12月13日	潮美台	潮美台一丁目自治会	ペットボトルのふた
176	12月13日	潮美台	松坂 壽仁	古切手
177	12月13日	神代	ピンクエンジェル	ペットボトルのふた・プルタブ
178	12月14日	南あわじ市	匿名	ペットボトルのふた・プルタブ
179	12月14日	洲本市	匿名	プルタブ
180	12月14日	阿万	(有)川端モータース	プルタブ
181	12月17日	市	喜田 健二	ペットボトルのふた
182	12月19日	八木	赤松 強	食材(みそ)
183	12月19日	市	市小学校	ペットボトルのふた
184	12月19日	福良	ジロデアワジ	ペットボトルのふた・ベルマーク
185	12月19日	湊	平田 幸彦	ペットボトルのふた
186	12月19日	広田	緑風館	ペットボトルのふた・プルタブ・衣類
187	12月20日	広田	広田中学校	ペットボトルのふた・プルタブ
188	12月21日	倭文	匿名	ペットボトルのふた
189	12月21日	市	在田 千恵	ペットボトルのふた・プルタブ
190	12月21日	福良	蓮池 八重子	プルタブ
191	12月21日	志知	鈿寿会グラウンドゴルフ	ペットボトルのふた
192	12月21日	福良	向谷自治会	ペットボトルのふた・古切手・ベルマーク
193	12月23日	北阿万	新田北サロン	ペットボトルのふた・古切手
194	12月25日	八木	赤松浩治	食材(みそ)
195	12月25日	八木	中八木花かざりの会	ペットボトルのふた
196	12月25日	丸山	山崎 育代	ペットボトルのふた
197	12月26日	阿万	(株)越岡建設	ペットボトルのふた・古切手
198	12月26日	不明	北脇 節子	ペットボトルのふた
199	12月26日	志知	宮崎 小百合	古切手・ベルマーク
200	12月26日	奈良県	おてらおやつクラブ	食材
201	12月26日	八木	前川 英明	ペットボトルのふた
202	12月27日	市	喜田 健二	ペットボトルのふた
203	12月27日	榎列	河崎商事(株)	ペットボトルのふた
204	12月27日	倭文	樋口 正輝	ペットボトルのふた
205	1月4日	八木	看護り処花もり	ペットボトルのふた
206	1月4日	神代	神代公民館	ペットボトルのふた
207	1月7日	広田	なでしこデイサービス	ペットボトルのふた
208	1月8日	潮美台	潮美台二丁目自治会	ペットボトルのふた
209	1月8日	湊	みなとふれあいサロン	ペットボトルのふた
210	1月8日	湊	みなといきいき百歳体操愛好会	ペットボトルのふた
211	1月8日	津井	津井地域づくり協議会	ペットボトルのふた
212	1月9日	福良	森崎 美江子	ふとん等
213	1月10日	灘	灘地区公民館	ペットボトルのふた
214	1月10日	潮美台	潮美台地区公民館	ペットボトルのふた
215	1月10日	不明	安田 みえ子	プルタブ
216	1月11日	志知	(有)船本鉄工所	ペットボトルのふた

217	1月11日	神代	ウインズ	ペットボトルのふた
218	1月16日	南あわじ市	手をつなぐ育成会	ペットボトルのふた
219	1月16日	奈良県	おてらおやつクラブ	食材
220	1月17日	洲本市	明治安田生命保険相互会社 神戸支社淡路営業所	ペットボトルのふた
221	1月18日	北阿万	金山 悦子	ペットボトルのふた
222	1月18日	倭文	ふれあいながた	ペットボトルのふた
223	1月22日	阿那賀	匿名	ペットボトルのふた・プルタブ・ベルマーク
224	1月22日	賀集	匿名	ハビナス・ぴったりシート
225	1月24日	広田	藤江 キヨエ	ペットボトルのふた
226	1月24日	賀集	賀集地区高萩自治会	ペットボトルのふた
227	1月24日	洲本市	(株)大幸	古切手
228	1月25日	八木	太陽の家	ペットボトルのふた
229	1月25日	北阿万	元気の森ホール	ペットボトルのふた
230	1月25日	福良	銚石田商店	ペットボトルのふた・古切手
231	1月25日	福良	桜木 進	ペットボトルのふた
232	1月25日	福良	谷間 りえ子	ペットボトルのふた
233	1月25日	福良	波戸崎 のぶ子	ペットボトルのふた
234	1月25日	福良	坂本 勢吉	ペットボトルのふた
235	1月25日	福良	安部 則行	ペットボトルのふた
236	1月25日	福良	安部 幸代	ペットボトルのふた
237	1月25日	福良	あべいすと	ペットボトルのふた
238	1月28日	潮美台	ふじひらカイロプラクティック	ペットボトルのふた
239	1月28日	広田	広田薬局	ペットボトルのふた
240	1月28日	広田	スマイリングサポート	紙おむつ
241	1月29日	灘	千種いきいきサロン	ペットボトルのふた
242	1月30日	南あわじ市	南あわじ市消費者協会	ペットボトルのふた
243	1月30日	福良	福良こども園	ペットボトルのふた
244	1月30日	松帆	サロンえじり	ペットボトルのふた
245	1月30日	神戸市	おてらおやつクラブ	食材
246	2月1日	福良	(株)エシエルケア	ペットボトルのふた
247	2月1日	阿那賀	藤村 正人	プルタブ
248	2月1日	市	在田 千恵	ペットボトルのふた・プルタブ
249	2月1日	五色町	銚フードショップわたなべ	プルタブ
250	2月1日	松帆	朝日窯業	ペットボトルのふた
251	2月4日	阿万	あずまサロン	ペットボトルのふた
252	2月4日	八木	淡路島牧場	ペットボトルのふた
253	2月4日	潮美台	松坂 壽仁	ベルマーク・古切手
254	2月4日	潮美台	潮美台一丁目自治会	ペットボトルのふた
255	2月5日	市	北山 久代	プルタブ
256	2月5日	市	匿名	古切手
257	2月5日	阿万	海釣り公園メガフロート	パズル・ペットボトルのふた
258	2月5日	伊加利	湯の川荘	ペットボトルのふた
259	2月5日	津井	地域づくり協議会	ペットボトルのふた
260	2月5日	南あわじ市	消費者協会	ペットボトルのふた
261	2月5日	奈良県	おてらおやつクラブ	食材
262	2月6日	広田	岡田 芙美子	食材(菜の花)
263	2月6日	津井	匿名	紙おむつ・衣類
264	2月6日	倭文	太田 幸子	プルタブ

265	2月6日	広田	JAMイズミフードマシナリ労働組合	ペットボトルのふた
266	2月7日	福良	ホテル&リゾート南あわじ	ベルマーク
267	2月7日	榎列	榎列郵便局	古切手
268	2月7日	賀集	浜浦 晃市	古切手
269	2月12日	北阿万	北阿万郵便局	古切手・使用済みテレホンカード
270	2月12日	湊	鍛冶山 るり子	ペットボトルのふた
271	2月13日	八木	八木病院	ペットボトルのふた
272	2月13日	北阿万	サロンいがの	ペットボトルのふた
273	2月13日	広田	藤江 キヨエ	ペットボトルのふた
274	2月13日	洲本市	兵庫県立あわじ特別支援学校	ペットボトルのふた
275	2月15日	洲本市	楽園すもと	ペットボトルのふた
276	2月15日	湊	みなとふれあいサロン	ペットボトルのふた・プルタブ・古切手・ベルマーク・使用済み図書カード
277	2月15日	湊	みなといきいき百歳体操愛好会	ペットボトルのふた・プルタブ・古切手・ベルマーク・使用済み図書カード
278	2月15日	福良	上田 幸代	ベルマーク
279	2月15日	阿万	藤本 妙子	ペットボトルのふた
280	2月15日	阿万	山形 京子	ペットボトルのふた
281	2月18日	阿万	あすまサロン	ベルマーク・古切手
282	2月19日	榎列	久倉 良和	電動車いす
283	2月19日	松帆	小林 佳奈	ペットボトルのふた
284	2月20日	阿那賀	喜田 進	ペットボトルのふた
285	2月21日	洲本	明治安田生命保険相互会社 神戸支社巡路営業所	ペットボトルのふた・古切手
286	2月22日	湊	奥畑 広二	ペットボトルのふた・プルタブ
287	2月22日	福良	(株)岡本商店	ペットボトルのふた
288	2月25日	灘	サロンうぐいす	ペットボトルのふた・プルタブ
289	2月25日	南あわじ市	南あわじ市更生保護女性会	古切手
290	2月28日	市	辻川 美恵子	ペットボトルのふた
291	2月28日	松帆	平田 幸彦	ペットボトルのふた
292	2月28日	松帆	記虎 一美	ペットボトルのふた
293	3月1日	神代	檉本 準子	毛糸
294	3月1日	広田	匿名	ペットボトルのふた
295	3月4日	松帆	岡田 功三	古切手
296	3月4日	松帆	匿名	テレホンカード
297	3月4日	阿万	宮本 幸雄	ペットボトルのふた
298	3月5日	沼島	沼島サロン	ペットボトルのふた
299	3月5日	伊加利	村上 幸子	手作り人形
300	3月5日	津井	津井戌亥会	ペットボトルのふた
301	3月5日	伊加利	湯の川荘	ペットボトルのふた
302	3月5日	津井	津井地域づくり協議会	ペットボトルのふた
303	3月5日	広田	カサグランデホテル	ペットボトルのふた
304	3月5日	湊	(株)西中工務店	古切手
305	3月6日	松帆	いきいきサロンIN西路	ペットボトルのふた
306	3月6日	倭文広田	匿名	ペットボトルのふた・古切手
307	3月6日	倭文	匿名	衣類
308	3月6日	市	辻川 美恵子	紙おむつ
309	3月7日	広田	(株)きんでん	ペットボトルのふた
310	3月7日	不明	匿名	使用済み図書カード
311	3月11日	松帆	社会福祉法人みかり会	ペットボトルのふた
312	3月11日	広田	㈱イズミフードマシナリ 女性活躍推進グループ	古切手

313	3月11日	倭文	清水 富三江	ペットボトルのふた
314	3月11日	潮美台	潮美台地区公民館	ペットボトルのふた
315	3月11日	潮美台	庄田照美・夕起	ペットボトルのふた
316	3月12日	洲本市	匿名	人形・絵カード
317	3月12日	北阿万	ゆ〜ぷる	ペットボトルのふた
318	3月13日	広田	淡路更生保護サポートセンター	ペットボトルのふた・古切手
319	3月13日	湊	湊地区公民館	ペットボトルのふた
320	3月15日	広田	緑風館	ペットボトルのふた・フルタブ
321	3月15日	市	久田 米子	ペットボトルのふた・フルタブ・古切手・ヘルマーク
322	3月15日	松帆	溝渕 孝子	ペットボトルのふた
323	3月18日	広田	みどりが丘自治会	ペットボトルのふた
324	3月18日	潮美台	潮美台二丁目自治会	ペットボトルのふた
325	3月20日	松帆	サロンえじり	ペットボトルのふた
326	3月20日	榎列	榎列郵便局	古切手
327	3月22日	市	喜田 健二	ペットボトルのふた・フルタブ
328	3月22日	松帆	田邊 博	ペットボトルのふた
329	3月22日	福良	神木 悦子	ペットボトルのふた
330	3月23日	北阿万	新田北いきいきサロン	ペットボトルのふた
331	3月25日	阿万	阿万小学校	ペットボトルのふた
332	3月25日	湊	小島 民子	古切手
333	3月26日	洲本市	(株)大幸	古切手
334	3月26日	阿万	淡路ちづよ	ペットボトルのふた
335	3月26日	八木	前川英明	ペットボトルのふた
336	3月26日	八木	翁寿園	ペットボトルのふた・フルタブ
337	3月27日	福良	斉藤 楽江	ペットボトルのふた・フルタブ
338	3月27日	広田	杭田 敏子	ペットボトルのふた
339	3月27日	阿万	佐渡 達史	フルタブ
340	3月29日	五色町	(有)フードショップわたなべ	フルタブ
341	3月29日	市	在田 千恵	ペットボトルのふた・フルタブ
342	3月29日	広田	橋本 まゆみ	古切手・フルタブ
343	3月29日	南あわじ市	消費者協会	ペットボトルのふた・フルタブ
344	3月29日	津井	辰美小学校 児童会	ペットボトルのふた
345	3月29日	市	匿名	ペットボトルのふた
346	3月29日	福良	桜木 進	ペットボトルのふた・フルタブ
347	3月29日	福良	(株)あべいすと	ペットボトルのふた
348	3月29日	福良	安部 則行	ペットボトルのふた
349	3月29日	福良	寺岡 まりこ	ペットボトルのふた

(ウ) 払い出し

事業名	件数(件)	払い出し金額(円)	内 容
歩行補助器購入補助事業 (@5,000円)	47	235,000	高齢者の介護予防の一環として、歩行補助器購入の補助を行っています。
チャイルドシート・ベビーカー購入補助事業 (@5,000円)	111	550,093	子育て支援の一環として、チャイルドシート・ベビーカー購入の補助を行っています。
安全坊や設置事業	74	326,460	交通安全活動の一環として、学校や市民の申出に基づき信号機のない交差点等の危険箇所へ安全坊やを設置しています。

■事業収入の確保

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	事業所単位で事業経営上の課題について協議する場をもち、検討を続けています。今年度は、2年目に入ったことでデイサービスセンターの運営が一定の成果をあげられました。一方、訪問介護事業については制度改正と人員減少の影響もあり苦戦が続きました。介護保険サービスについては、中長期的な視点に立ち要支援状態の利用者を積極的に受け入れるなど具体的な目標数量を定め、安定した事業収入の確保を目指します。
----------------------------	---

■適正な運営

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	各事業とも法令を遵守した人員の配置とサービスの提供を行っています。事業の収支状況については、月次実績を理事監事会で報告、共有しています。サービスを継続するために必要な有資格者・職員の確保と、法人運営を円滑にすすめられる体制の構築をすすめます。
----------------------------	---

■介護保険サービス

(ア)居宅介護支援事業

◆月別介護報酬の状況 (単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	1,678,120	1,691,140	△ 13,020
5月	1,669,560	1,633,340	36,220
6月	1,660,990	1,660,850	140
7月	1,707,150	1,674,680	32,470
8月	1,700,150	1,700,220	△ 70
9月	1,664,860	1,628,170	36,690
10月	1,692,870	1,678,950	13,920
11月	1,727,000	1,733,420	△ 6,420
12月	1,754,560	1,704,470	50,090
1月	1,718,980	1,644,650	74,330
2月	1,692,000	1,678,160	13,840
3月	1,694,600	1,653,330	41,270
合計	20,360,840	20,081,380	279,460

(イ)訪問介護事業

◆月別介護報酬の状況 (単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	3,349,062	3,434,580	△ 85,518
5月	3,221,041	3,504,438	△ 283,397
6月	3,147,567	3,749,466	△ 601,899
7月	2,977,069	3,556,233	△ 579,164
8月	2,721,155	3,576,794	△ 855,639
9月	2,583,465	3,710,461	△ 1,126,996
10月	2,968,106	3,704,531	△ 736,425
11月	2,919,218	3,654,590	△ 735,372
12月	2,887,269	3,572,627	△ 685,358
1月	2,709,618	3,365,951	△ 656,333
2月	2,459,441	3,373,295	△ 913,854
3月	2,520,374	3,731,350	△ 1,210,976
合計	34,463,385	42,934,316	△ 8,470,931

■障害福祉サービス

(ア)居宅介護等事業(ヘルプ)

◆月別介護報酬の状況

(単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	2,567,021	2,586,533	△ 19,512
5月	2,480,787	2,520,369	△ 39,582
6月	2,311,485	2,757,318	△ 445,833
7月	2,278,215	2,775,048	△ 496,833
8月	2,331,647	2,629,708	△ 298,061
9月	2,236,628	2,325,599	△ 88,971
10月	2,407,377	2,381,439	25,938
11月	2,293,291	2,425,718	△ 132,427
12月	2,376,895	2,466,489	△ 89,594
1月	1,921,778	2,327,150	△ 405,372
2月	1,808,755	2,371,008	△ 562,253
3月	1,829,125	2,551,249	△ 722,124
合計	26,843,004	30,117,628	△ 3,274,624

(イ)相談支援事業

◆月別介護報酬の状況

(単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	1,059,280	1,012,150	47,130
5月	802,030	677,830	124,200
6月	813,530	982,770	△ 169,240
7月	710,200	705,370	4,830
8月	772,390	758,500	13,890
9月	843,540	841,020	2,520
10月	952,620	862,740	89,880
11月	1,062,440	985,080	77,360
12月	1,041,080	1,116,400	△ 75,320
1月	605,710	751,830	△ 146,120
2月	955,420	712,880	242,540
3月	1,120,270	1,263,000	△ 142,730
合計	10,738,510	10,669,570	68,940

**(ウ)移動支援事業**

◆月別介護報酬の状況

(単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	26,325	42,930	△ 16,605
5月	19,800	20,800	△ 1,000
6月	21,600	19,000	2,600
7月	18,000	40,950	△ 22,950
8月	23,725	48,600	△ 24,875
9月	14,400	20,800	△ 6,400
10月	23,400	18,400	5,000
11月	19,800	28,000	△ 8,200
12月	21,600	23,400	△ 1,800
1月	18,000	16,100	1,900
2月	19,800	20,800	△ 1,000
3月	27,325	17,200	10,125
合計	253,775	316,980	△ 63,205

**(エ)生活介護(なでしこ)**

◆月別介護報酬の状況

(単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	2,928,110	2,444,800	483,310
5月	3,261,390	2,434,100	827,290
6月	2,991,740	2,527,230	464,510
7月	2,994,220	2,699,790	294,430
8月	2,810,080	2,550,830	259,250
9月	2,740,400	2,488,400	252,000
10月	3,021,970	2,562,900	459,070
11月	2,853,490	2,371,050	482,440
12月	2,895,440	2,710,930	184,510
1月	2,689,360	2,435,610	253,750
2月	2,581,560	2,338,650	242,910
3月	2,776,270	2,569,370	206,900
合計	34,544,030	30,133,660	4,410,370

**(オ)児童発達支援(なでしこ)**

◆月別介護報酬の状況

(単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	957,439	650,902	306,537
5月	1,060,828	446,410	614,418
6月	1,226,834	645,770	581,064
7月	1,111,936	720,776	391,160
8月	1,103,735	755,929	347,806
9月	978,345	1,000,642	△ 22,297
10月	948,345	757,384	190,961
11月	1,119,156	879,128	240,028
12月	1,061,001	924,588	136,413
1月	1,045,166	924,253	120,913
2月	1,134,343	860,968	273,375
3月	1,260,904	1,197,348	63,556
合計	13,008,032	9,764,098	3,243,934

**(カ)放課後等デイサービス(なでしこ)**

◆月別介護報酬の状況

(単位：円)

月	今年度	前年度	比較
4月	935,437	710,694	224,743
5月	1,006,133	761,683	244,450
6月	861,386	701,158	160,228
7月	1,027,891	827,406	200,485
8月	1,334,195	1,119,325	214,870
9月	861,006	685,467	175,539
10月	916,353	636,103	280,250
11月	964,772	804,561	160,211
12月	985,256	752,606	232,650
1月	843,459	706,814	136,645
2月	926,868	544,058	382,810
3月	1,050,774	778,692	272,082
合計	11,713,530	9,028,567	2,684,963

#### (4) 財政基盤の強化(補助金・受託金)【会費・事業収入】

第3次計画到達点・行政とともに補助、受託事業のあり方について検討し、数値化できない事業や活動の成果を可視化できるようにします。また、補助、受託金事業の成果が見せられることにより社協の存在意義を明確にし、安定した財源確保ができるようになることで、さらに地域福祉を推進します。

##### ■活動、取り組みの可視化

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	「生活支援体制整備事業」においては、行政の第1層生活支援コーディネーターと常に連絡調整し、活動の進捗状況を共有しています。活動や取り組みの可視化という点では、社協広報紙「わかば」のほか、市の広報紙面で特集を組むなど連携がすすんでいます。しかし、この事業にかぎらず、これまでの取り組み成果を数値化・可視化できていない点も多くあります。地域福祉を推進するうえでの共通した指標づくりを含めたビジョン(地域福祉計画)を行政と協働して策定していきます。
----------------------------	---

##### ■早朝懇談会

今年度から社協と行政の役割・機能について相互理解を深め、社協と行政のパートナーシップを強化し、南あわじ市の地域福祉推進を図るため、市長、副市長はじめ市役所幹部職員と社協役職員の懇談会を隔月開催しました。

行政実務研修制度による職員派遣など、新たな協働の取り組みにつながっています。

日時	懇談会のテーマ	出席者数	場所
H30.5.16	社会福祉協議会について	15	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室
H30.7.18	『住民・地域主体のまちづくり』について ～社協の第3次地域福祉推進計画の取り組みより～	16	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室
H30.9.19	防災について ～災害ボランティアセンターの取り組みより～	17	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室
H30.11.21	「地域共生社会」の実現に向けた協働 ～2019厚労省予算概算要求より～	16	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室
H31.1.16	「職員の育成について」 ～兵庫県における「地域共生社会」実現に向けた提言より～	16	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室
H31.3.13	「30年度の振り返り」 ～「市民参加」と「地域共生社会」～	16	南あわじ市 旧緑庁舎 203会議室

##### ■活動に必要な財源の要望

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	今年度は、市が進める「高齢者等元気活躍推進事業(おもしろポイント制度)」が10月から試行されたことから、職員派遣等についての協議がスタートしました。また、生活困窮者自立支援相談・基幹相談支援事業所を軸にした「包括的相談支援体制」の構築、地域福祉計画策定と第3次地域福祉推進計画の中間評価の合同作業等に向けた議論が始まろうとしています。2019年度は、これらの協議が社協の体制強化とそれに必要な財源確保につながられるよう、行政との調整をさらにすすめます。
----------------------------	--

##### ■補助金

(単位：円)

名称	今年度	前年度	比較
福祉コミュニティづくり推進事業(市)	21,500,000	21,500,000	0
ひょうご災害ボランティア活動 サポート事業補助金(県)	1,000,000	1,000,000	0
ボランティア活動支援事業(市)	1,000,000	1,000,000	0

ミニデイサービス事業補助金(市)	0	2,919,000	△ 2,919,000
縁結び事業補助金(市)	0	0	0
地域交流活動支援事業補助金(市)	0	450,000	△ 450,000
障がい者交流事業補助金(市)	300,000	300,000	0
音声パソコン教室	200,000	140,000	60,000
その他の補助金収入	0	29,100	△ 29,100

#### ■受託金

(単位：円)

名称	今年度	前年度	比較
「食」の自立支援事業	0	9,406,000	△ 9,406,000
外出支援サービス	0	403,300	△ 403,300
要介護認定調査	240,840	294,840	△ 54,000
介護予防支援事業	233,800	158,500	75,300
共助の基盤づくり事業	3,999,240	3,999,240	0
生活困窮者自立支援事業	6,889,320	6,889,320	0
第2層生活支援体制整備事業	5,983,028	6,500,000	△ 516,972
相談支援事業受託金収入	6,647,250	6,647,250	0
障害程度区分認定調査受託金	133,920	114,480	19,440

#### (5) 財政規律の強化【会費・事業収入】

第3次計画到達点・第三者を含めた経営会議を開催し、経営改善を行うことで安定した法人運営を目指し、利益を地域に還元する仕組みをつくります。

#### ■内部牽制のしくみづくり

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	予算管理や執行については、担当者から管理職、管理職から総務の決裁ルールのもと、内部牽制とチェック機能を働かせています。また、管理職会議を定例化し経営状況についての共有と経営改善に向けた協議に努めています。
----------------------------	--

#### ■情報の公表

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	ホームページや社協広報「わかば」で公表するほか、自治会、民生委員・児童委員、地域交流センター等の会議で、社協の活動や会費・共同募金の使いみちなど、社協の財源についても説明しています。今年度は、生活支援コーディネーター業務の「場づくり」に関する市広報紙面を行政と協働し作成するなど「情報発信」において連携が進みました。 また、「障害福祉サービス等情報公表システム」、「財務諸表等電子開示システム」によりウェブ上で情報を開示しています。
----------------------------	---

## 取り組み② 人材育成

### (1) 職員の資質向上に向けた取り組み【補助金】

第3次計画到達点・法人の理念や目標を明確にし、役職員で共有し同じ方向を目指します。地域福祉をさらに推進できる職員を育成し、法人の組織力を強化します。

#### ■職場内研修 【会費、事業収入】

研修・会議等の名称	内容	開催頻度等
管理職会議	各部からの報告・研修結果の報告等	月1回
職員会議	各部からの報告・研修結果の報告等	随時
ケアマネ会議	研修計画に基づく研修の実施と福祉関係情報の共有等	月1回
相談支援専門員会議	多職種参加によるケースの共有と困難事例の検討	週1回
ヘルパー会議	研修計画に基づく研修の実施と地区別連絡会等	月1回
ケース会議	多職種参加によるケース検討を活用した研修	週1回

※これら以外にも、担当者会議等を通して職員の資質向上に取り組んでいます。



#### 【職員の資質向上と多職種連携をすすめています】

#### ■職場外研修の参加

各職員が職能、職責に応じた研修に参加しました。社会福祉研修所や各種団体が企画する研修情報の取得に努めています。職能団体が主催する研修の多くは、土日に開催されており業務に位置づけるのが難しいことから、職員の学習意欲に任せているのが現状です。また、業務の関係で外部研修に参加できない職員も多いため、内部研修等により全体へ学びを浸透させることが課題です。

月日	研修等の名称	参加者
H30.4.12	新会計システム決算説明会	桑田
H30.5.17	福祉車両安全運転講習会	村居
H30.5.18	淡路自立支援協議会基礎研修	東庄
H30.5.25	淡路島の社協職員協議会業務研究会	齋藤、平見、東庄、倉本、森、清川、長井、奥野、濱田、松本
H30.5.31	認定調査員研修	東庄
H30.6.11	相談支援従事者現任研修	道上
H30.6.13	訪問介護員等への利用者・家族からの暴力等対策研修	山田
H30.6.16	兵庫県介護支援専門員総会研修	濱田
H30.6.22	食のセーフティネット実務者による研修会	奥井
H30.6.22	生活支援体制事業基礎セミナー	谷本

H30.6.27	赤い羽根の福祉について考える会	土居
H30.6.29	淡路圏域障害福祉サービス従事者等研修	平見、北川、道上、東庄、倉本
H30.7.11	相談支援従事者現任研修	道上、奥井
H30.7.14	淡路ブロックヘルパー協議会研修	中元
H30.7.17	福祉避難所設置・運営研修	長井、清川
H30.7.17	発達支援セミナー	道上
H30.7.20	淡路島の社協職員協議会業務研究会	山本、山田、東庄、倉本、濱田、奥野、清川、谷本、長井
H30.7.20	県内社協事務局長勉強会	山口
H30.7.24	日常生活自立支援事業専門員研修	奥野
H30.7.26	相談面接技術研修	松本
H30.8.1	相談支援従事者現任研修	北川
H30.8.9	障害者虐待対応力研修	東庄、倉本
H30.8.9	相談面接技術研修	松本
H30.8.10	介護支援専門員協会淡路島支部研修	山口、山本、濱田、松山、松本
H30.8.17	赤い羽根ひょうごフォーラム	阿部、土居
H30.8.17	発達支援セミナー	平見、東庄、倉本
H30.8.28	支え合い社会県民フォーラム※役員研修	阿部、溝口、清川、市川、船本、登里、山田、新井
H30.9.3	自立相談支援事業従事者研修	土居
H30.9.6	サービス管理責任者連絡協議会研修	森、北川
H30.9.7	兵庫県サービス管理責任者研修	北川
H30.9.7	精神保健福祉研修	平見
H30.9.28	大規模災害を想定した災害ボランティア連携訓練	山口、齋藤、長井、奥野
H30.10.24	あわじ認知症ケア研修会	山田
H30.10.28	兵庫県ホームヘルプ事業者協議会淡路ブロック研修会	山田、大谷、中元
H30.11.13	生活支援体制整備事業実践セミナー	谷本
H30.11.14	県内社協事務局長勉強会	山口、齋藤
H30.11.19	相談支援員養成研修	土居
H30.11.20	第67回兵庫県社会福祉大会※役員研修	阿部、溝口、清川、山口、船本、山田、吉見、新井
H30.11.28	医療的ケア児等支援者養成研修	東庄
H30.12.7	社会福祉法人事務職員初級講座	清水
H30.12.13	兵庫県サービス管理責任者研修	北川
H30.12.17	生活困窮者自立支援制度兵庫県人材育成研修	奥井
H30.12.20	医療的ケア児等支援者養成研修	東庄
H30.12.18	日常生活自立支援事業専門員・担当者事例検討会	奥野
H30.12.26	障害者虐待対応力向上研修	平見
H31.1.11	「移動」と「食」を支える生活支援体制整備に向けた研修会	谷本
H31.1.21	生活支援体制整備事業情報交換会	谷本
H31.1.31	医療的ケア児等コーディネーター養成研修	東庄
H31.1.31	専門研修「発達障害とトラウマ」コース	北川
H31.2.14	専門研修「子どもたちのいじめのケア-加害と被害の連鎖-」コース	北川
H31.2.15	ギャンプル依存症支援者向け研修	奥井
H31.2.15	障害者虐待対応力向上研修 B研修	東庄、倉本

H31.2.18	医療的ケア児等コーディネーター養成研修	東庄
H31.2.20	赤い羽根の福祉学習について考える会	土居
H31.2.25	社協・生活支援活動方針普及・促進セミナー	山口、齋藤、清川
H31.2.27	児童発達支援管理者等ブラッシュアップ研修	北川
H31.3.8	生活支援体制整備事業全県フォーラム	山口、齋藤、谷本
H31.3.8	淡路島の社協職員協議会視察研修	奥井、長井、清川

### ■表彰

受賞者・団体	大会等	表彰の内容
岩井 るり子	第67回兵庫県社会福祉大会	兵庫県知事表彰 ホームヘルパー功労者
広田中学校	兵庫県共同募金会顕彰規程に基づく	兵庫県共同募金会会長表彰
南淡中学校	兵庫県共同募金会顕彰規程に基づく	兵庫県共同募金会会長表彰
広田小学校	兵庫県共同募金会顕彰規程に基づく	兵庫県共同募金会会長表彰
湊幼稚園	兵庫県共同募金会顕彰規程に基づく	兵庫県共同募金会会長表彰
榎列保育所	兵庫県共同募金会顕彰規程に基づく	兵庫県共同募金会会長表彰
市保育所	兵庫県共同募金会顕彰規程に基づく	兵庫県共同募金会会長表彰
賀集保育所	兵庫県共同募金会顕彰規程に基づく	兵庫県共同募金会会長表彰

### ■実習生・研修生等の受入れ

期間（予定）	受入れ人数	内容
平成31年1月7日～ 平成31年3月1日	1人	相談援助実習(社会福祉士国家試験受験のための現場実習)

### ■人材育成プログラム

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	日常業務の相談や会議の場でOJTを意識した職員の育成に取り組んでいるほか、 職能、職責ごとに外部研修を受講しています。。
----------------------------	---

### ■キャリアパスのしくみづくり

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	介護保険・障がい福祉サービスの処遇改善加算や、体制加算の要件を満たす キャリアパスについては、作成できています。職員のモチベーションを高め、働きがい のあるキャリアパスのしくみづくりをすすめます。
----------------------------	--

### ■産業医の選任・安全衛生委員会の設置

取り組みの内容 (成果・課題・今後の方向性等)	今年度、淡路労働基準監督署の指導により産業医を選任したほか体制の整備を 図りました。2019年度は、産業医等による職員のメンタルヘルスに努め、「はたら きやすい」「はたらき続けられる」職場づくりをすすめます。 【産業医】こくないクリニック 穀内勇夫医師、穀内純江医師
----------------------------	--

■苦情等を改善に向けた取り組み

今年度においては、地域包括支援センター等関係機関との連携や報告・相談に加え組織内の報告・連絡・相談が不十分であったことによる苦情や、事故がありました。幸い、大きな問題に発展しませんでした。これらを職員個人の単なる連絡ミスではなく組織的な課題と捉え、相談時の2人体制や事例を共有することを徹底する等の改善策を講じています。世帯(個人)が抱える問題が深刻化・複雑化していることに加え価値観が多様化していることから、2019年度は職員の対人援助スキルと知識向上、体制の強化に努めます。

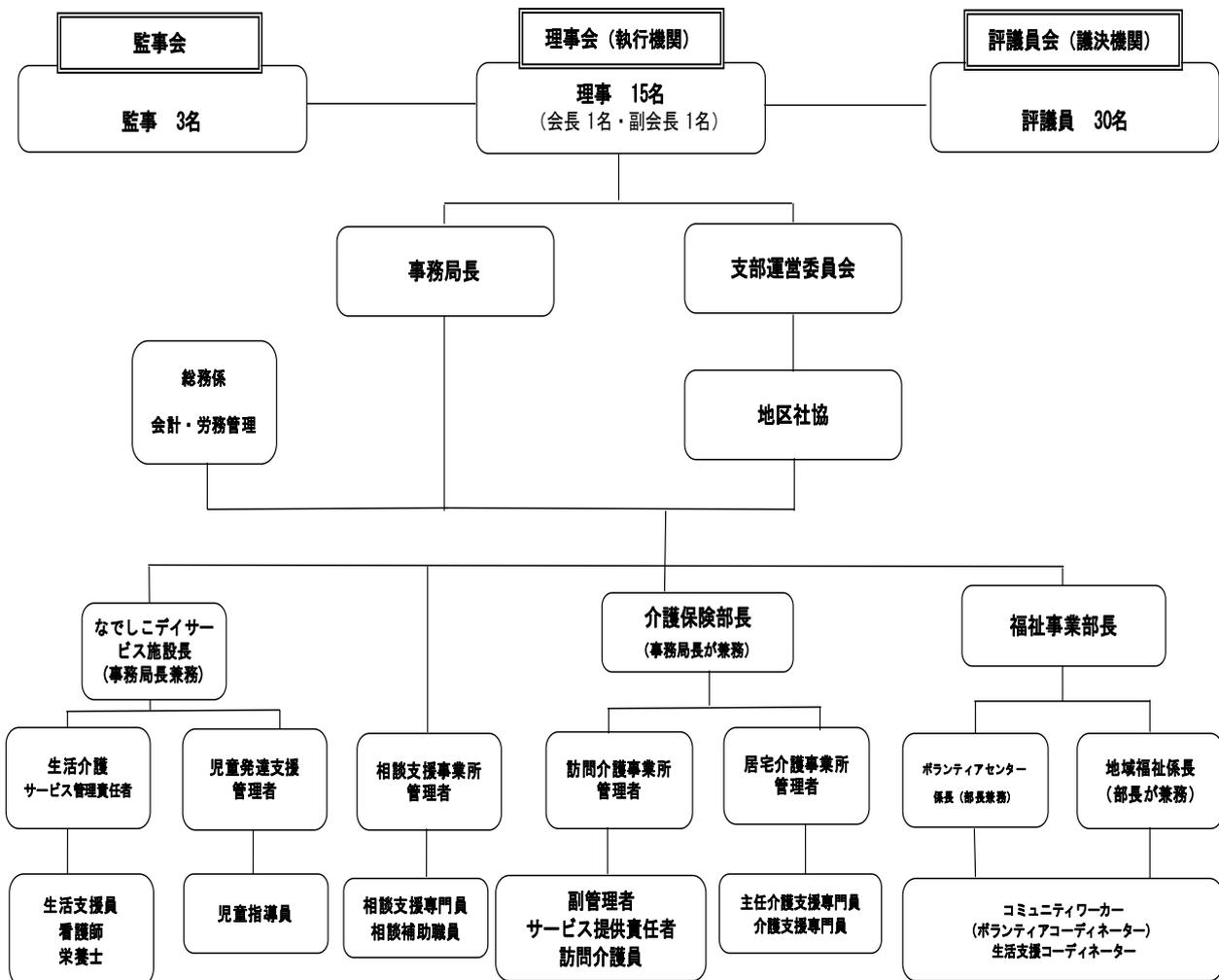
種別	件数	主な内容
苦情	8 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス事業所の変更について</li> <li>・サービス内容について</li> <li>・電話・窓口での対応について</li> </ul>
事故 (ヒヤリハット含む)	9 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両、備品の破損</li> <li>・サービスの未提供 (連絡の不徹底)</li> <li>・謝金支払いの遅延</li> <li>・相談者の安全確保</li> </ul>



※赤い羽根が付いている活動には、共同募金配分金を活用しています。



社会福祉法人南あわじ市社会福祉協議会組織機構図



平成31年3月31日現在

■職員配置（3月31日現在）

職 種	常勤	常勤嘱託	パート	採用人数	退職人数
コミュニティワーカー	4 (5)				1
生活困窮者自立（主任）相談員	1 (1)				
生活支援コーディネーター	1	1			
ボランティアコーディネーター	(2)				
介護支援専門員	4				
訪問介護員	6	2	13		2
相談支援専門員	3	1			
児童発達支援管理責任者		1			
サービス管理責任者	1				
児童指導員	2				2
看護師			2		
生活支援員			9 (2)	1	
栄養士			1		
調理員			(1)		
運転員			1		
その他	2	2	5 (1)		
実数	24	7	31	1	5

※職種は主な業務でカウント、（ ）中数字は兼務の人数。

※採用、退職は今年度中における数を記載。退職に伴う補充採用は2019年4月から5月にかけて実施済み。